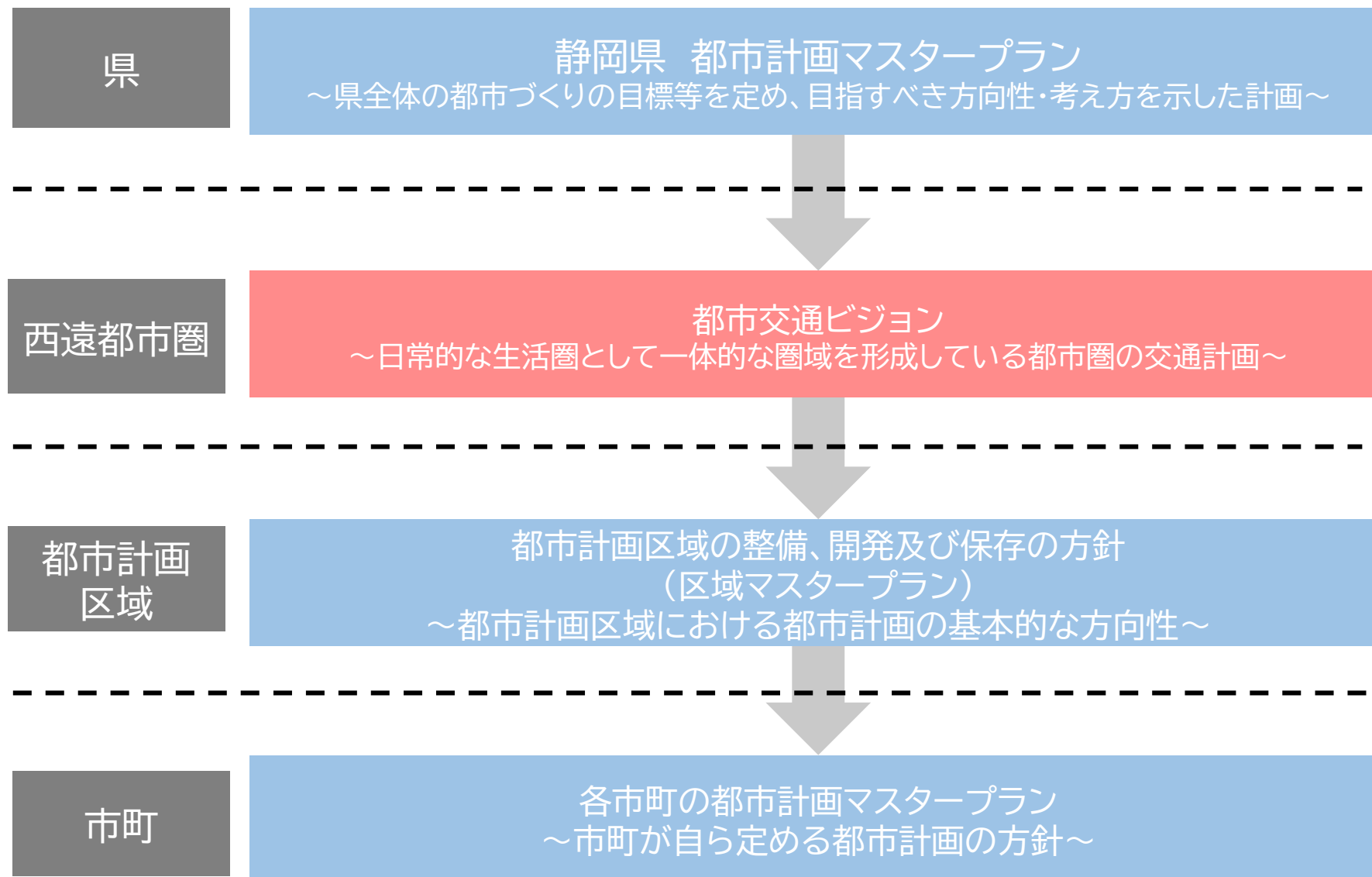


西遠都市圏総合都市交通計画協議会 令和 6 年度第 2 回委員会

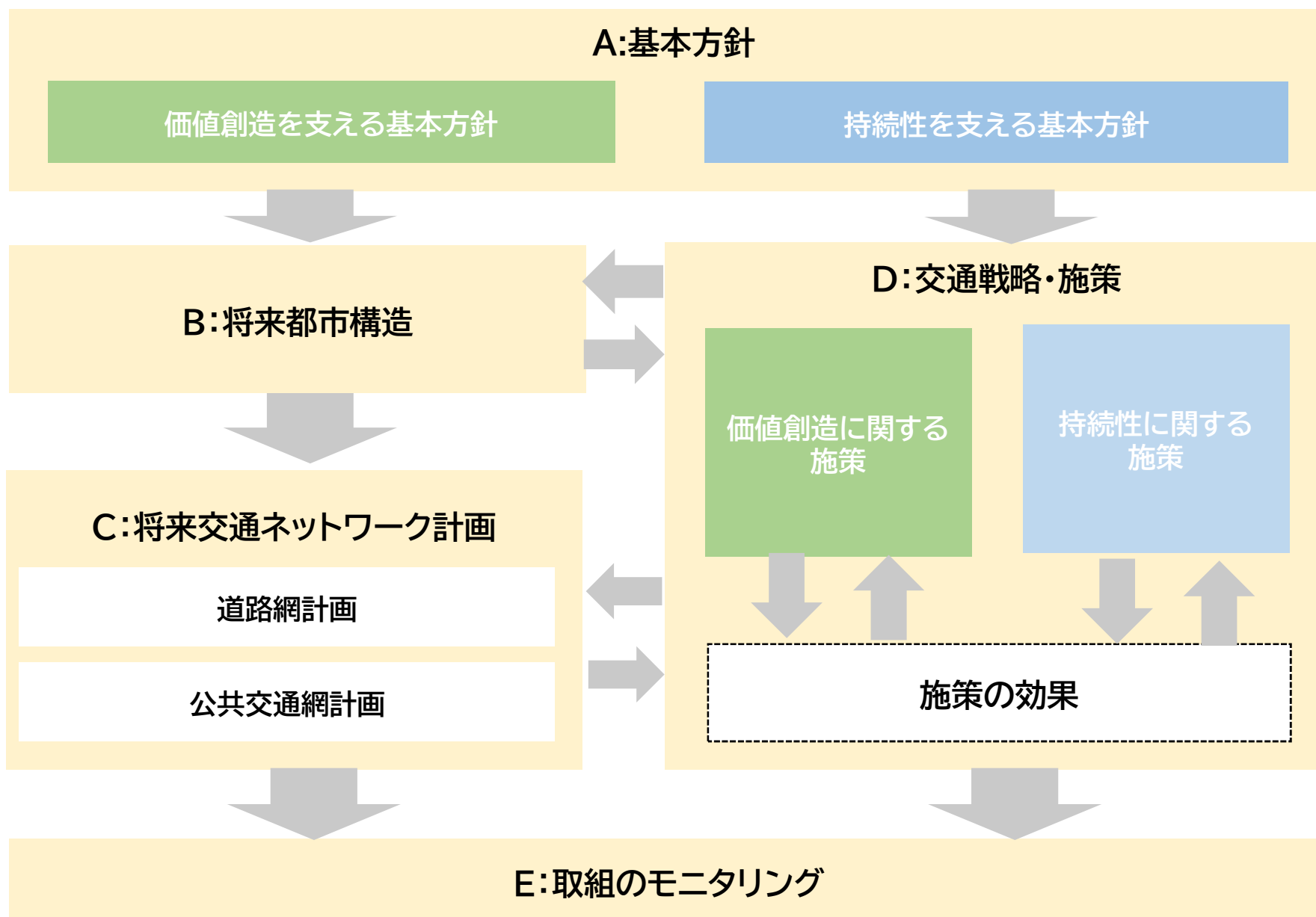
将来都市構造の設定

令和7年3月

0：都市交通ビジョンの考え方（計画対象範囲）



0：都市交通ビジョンの考え方（全体像）



0：都市交通ビジョンの考え方（検討手順）

B. 将来都市構造の検討

①将来都市構造の設定

- ・各市町の上位・関連計画における拠点及び基幹軸の位置づけをもとに第4回調査における将来都市構造の拠点、都市圏軸を更新
- ・加えて、立地適正化計画の都市機能誘導区域・居住誘導区域の位置づけをもとにゾーニングを新たに設定

D. 交通戦略・施策の検討

②基本方針に基づく、都市構造の検証

- ・更新した将来都市構造の拠点（3ランク別）、ゾーニング、都市軸について、価値創造の観点及び持続性の観点から検証の視点（評価指標）を設定し、推計MSデータ（現況、趨勢、外的）を活用して基本方針実現に向けた課題を整理

⇒検証結果を交通戦略・施策へ反映（場合によっては将来都市構造の見直し）

③フォアキャストでの積み上げによる施策効果の検証

- ・②で明らかとなった課題に対して、期待される施策を戦略ごとに既存計画等から整理（各市町への照会より）
- ・位置づけ施策のうち、モデルに反映できる施策を反映し、ABMにて効果を検証。この際、土地利用の設定は、居住誘導区域の目標値を実現するように、誘導区域外から人口を誘導したとして実施。
- ・推計結果より、基本方針と乖離を確認

④追加施策の提案

- ・基本方針との乖離を踏まえ、期待される施策を提案

⑤提案施策を踏まえた施策効果の検証

- ・追加施策を踏まえABMを推計し、施策効果を検証
 - ・更なる追加の必要性・実施可能性を確認（追加する場合にはABMも追加で実施）
- ※検証の最終形は、将来ビジョン型のマスターデータとして、VTODとセットで活用できるようにデータ化を実施

⑥戦略に対応した施策パッケージの設定

- ・検討結果を踏まえ、戦略ごとに施策パッケージを整理

⑦都市交通ビジョン実現により期待される効果の整理

- ・②の検証で活用した指標に対して、現況、趨勢、将来ビジョンの3ケースで値を整理し、効果を整理
- ・効果をもとに、ゾーニングの区分ごとに暮らしの絵姿（文章およびイラストを想定）などを整理

E. モニタリングの検討

⑧モニタリング指標の設定

- ・⑦の効果整理で活用した指標に対して、どのように推移するのか、次年度以降の確認方法を検討

C. 将来交通ネットワーク計画の検討

③都市軸の候補となるネットワークの確認

- ・都市軸に対して、第4回調査における骨格交通体系と比較し、位置づけのない区間については、該当路線を確認。なければ、新規路線として提案。
- ・また、地域公共交通計画等の最新の公共交通に関する計画及び道路整備計画など最新の道路整備に関する計画との整合性を確認し、変更となる区間を反映することで将来交通ネットワークを設定

④提案施策を踏まえた都市軸の候補となるネットワークの更新

- ・提案施策の内容を踏まえて、ネットワークの更新を実施

1：基本的な考え方

- ・ 前回計画において、コンパクト・プラス・ネットワークを将来都市構造として設定。
- ・ 前回計画を受けて、各市町において、上位・関連計画の将来都市構造のコンパクト・プラス・ネットワークを位置づけ、取組を推進(詳細は参考1. 上位・関連計画における目標・将来像を参照)。
- ・ 今回計画においても、引き続き、コンパクト・プラス・ネットワークの実現を目指すことから、前回計画の将来都市構造のアップデートを通して、将来都市構造を設定する。

2-1: 前回計画の将来都市構造

コンパクト・プラス・ネットワーク

2-2: 上位・関連計画を踏まえたアップデート

各市町のコンパクト・プラス・ネットワークの
考え方(拠点・軸・ゾーン等の設定)

2-3: 今回計画の将来都市構造(案)

コンパクト・プラス・ネットワークの深度化

2-1：前回計画の将来都市構造

- 前回の将来都市交通マスタープランの将来都市構造については、「拠点」「都市圏軸」の2つの要素で構成されている。



2-1：前回計画の将来都市構造

拠点に関する考え方①【各拠点の役割】



【都市の拠点】居住地や商業、行政サービス等の都市機能の集積を図る

都市圏中心	都市圏中心核として、浜松都心を〈都市圏中心〉と位置づける。
地域拠点	集積度の高い都市圏内の各地域の主要な拠点として、磐田市・袋井市・湖西市各都市の中心と浜北副都心、志都呂・堀出前地区、気賀地区、二俣・西鹿島地区を〈地域拠点〉と位置づける。
生活拠点	日常生活の拠点として、森町・新居町各町の中心や合併前の旧市町村の中心をはじめとする、居住地や商業、行政サービス機能の集積地区を〈生活拠点〉と位置づける。

【産業・物流の拠点】都市圏の特徴であるものづくりを担う工業を中心とした産業機能及び流通機能の集積を図る

産業交流拠点	広域的な物流機能や交流機能を含む都市圏内の主要な産業拠点として、東名IC周辺地区、新東名IC周辺地区の産業集積を〈産業交流拠点〉と位置づける。
産業拠点	その他の各市町の主要な工業団地等の集積地区を〈産業拠点〉と位置づける。

【レクリエーション拠点】都市圏外との交流も含めた都市圏の主要な自然、歴史、文化資源等の観光機能やレクリエーション機能の集積を図る

観光・レクリエーション交流拠点	レクリエーション系の広域的な交流拠点として、浜名湖観光エリア、小笠山総合運動公園エリア、北遠エリアを位置づける。
-----------------	--

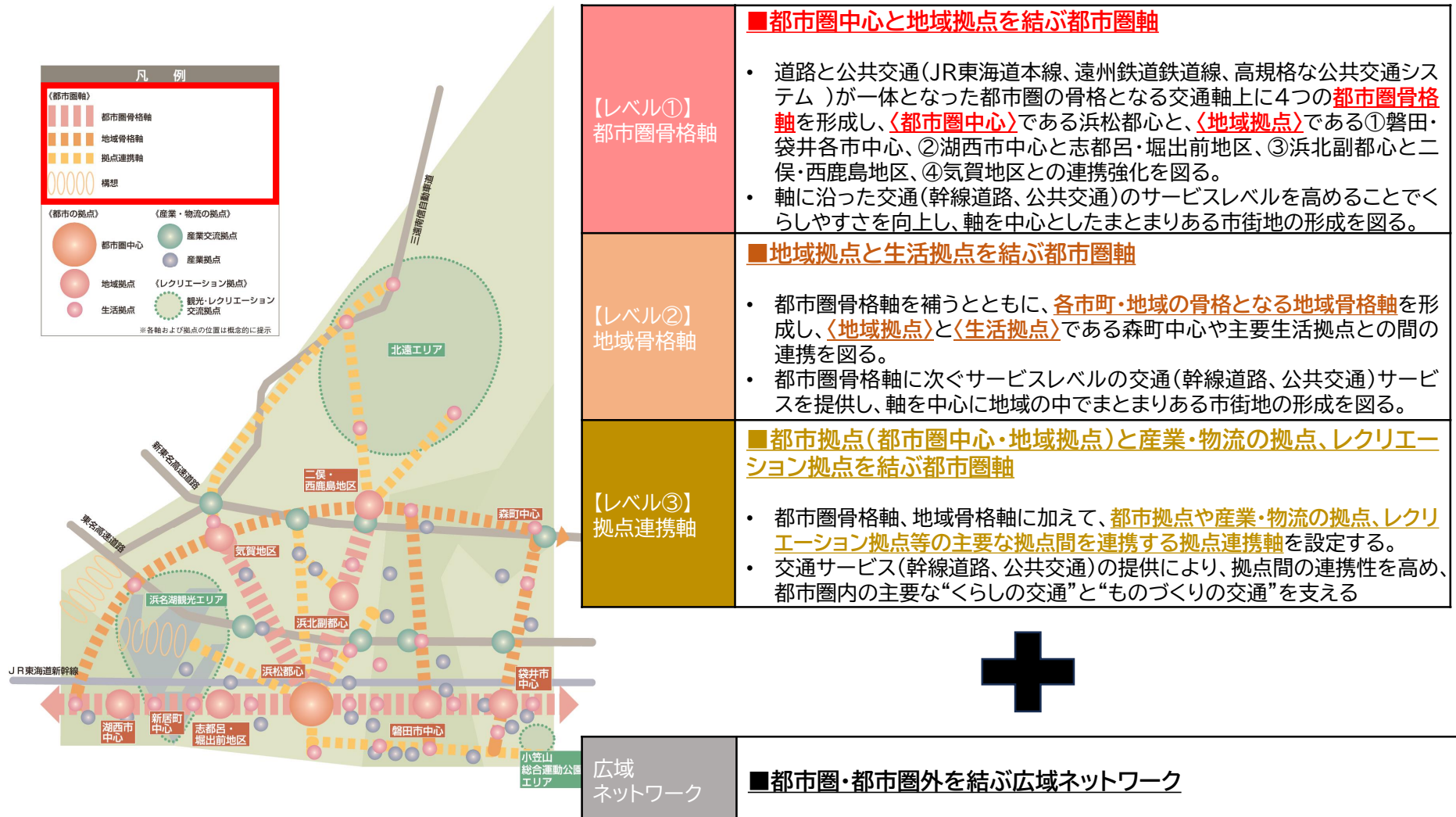
2-1：前回計画の将来都市構造

拠点に関する考え方②【拠点のレベル設定】

		都市の拠点	産業・物流の拠点	レクリエーション拠点
【レベル①】 都市圏中心核	都市圏において、 <u>中心核をなす拠点レベル</u> を指す	〈都市圏中心〉 ・浜松都心	—	—
【レベル②】 都市圏主要拠点	都市圏において、 <u>高い集積度又は強い交流機能を設定すべき拠点レベル</u> を指す。	〈地域拠点〉 ・磐田市中心 ・袋井市中心 ・湖西市中心 ・浜北副都心 ・志都呂・堀出前地区 ・気賀地区 ・二俣・西鹿島地区	〈産業交流拠点〉 ・東名IC周辺地区 ・新東名IC周辺地区	〈観光・レクリエーション交流拠点〉 ・浜名湖観光エリア ・小笠山総合運動公園エリア ・北遠エリア
【レベル③】 都市圏拠点	都市圏において、 <u>日常の暮らし又は産業活動の中心として設定すべき拠点レベル</u> を指す。	〈生活拠点〉 ・森町中心 ・新居町中心 等	〈産業拠点〉 ・主要産業拠点	—

2-1：前回計画の将来都市構造

都市圏軸に関する考え方【各都市圏軸の役割】



2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート

<将来都市構造の構成要素>

- ・ 前回計画の将来都市構造の構成要素である「①拠点」「②都市圏軸」は踏襲。
- ・ また、前回計画以降、各市町ではコンパクト・プラス・ネットワークを実現するために、立地適正化計画を策定し、都市機能誘導区域・居住誘導区域を設定し、各区域で都市サービスの考え方を整理。
⇒本計画でも、「③ゾーン」を定め、各ゾーンの都市サービスの考え方を「交通戦略・施策」の中で整理。

<アップデートの方向性>

- ・ 現行計画より、将来都市構造の要素である「①拠点」「②都市圏軸」「③ゾーン」を抽出・反映する。
- ・ 対象とする現行計画については、本計画の位置付けを踏まえ、「静岡県都市計画マスタープラン」「区域マスタープラン(政令指定都市である浜松市は都市計画マスタープラン)」を基本とする。
- ・ なお、「静岡県都市計画マスタープラン」「区域マスタープラン」に位置付けがない「③ゾーン」については、「立地適正化計画」を対象に抽出・反映する。

将来都市構造の構成要素

①拠点
【前回計画の構成要素】

②都市圏軸
【前回計画の構成要素】

③ゾーン
【新規追加の構成要素】

アップデートの方向性

県マス・区域マス(政令指定都市である浜松市は都市計画マスタープラン)における拠点

県マス・区域マス(政令指定都市である浜松市は都市計画マスタープラン)における拠点をつなぐ都市圏軸を反映

各市町の立地適正化計画の都市機能誘導区域・居住誘導区域の位置づけを反映

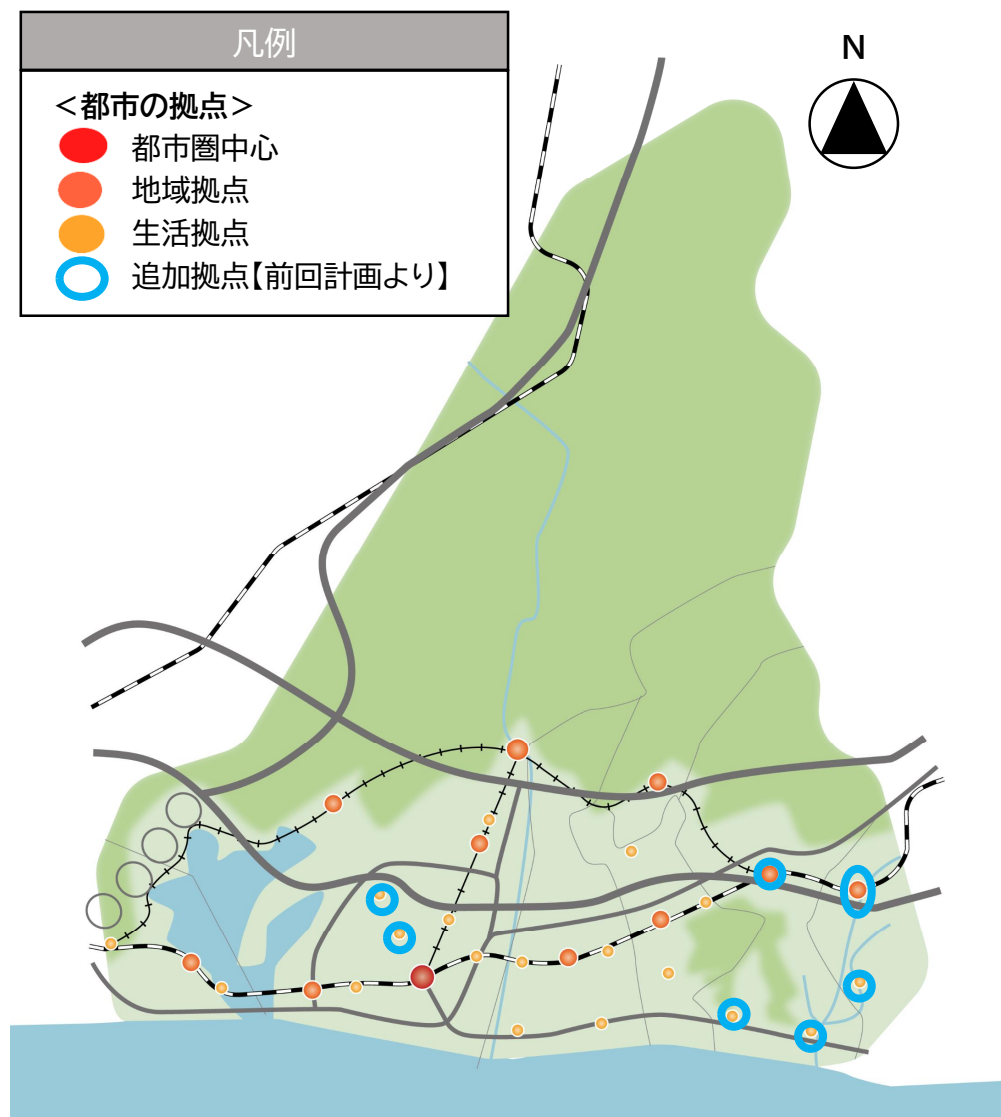
2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【①拠点】

- ・ 前回計画と同様、「都市の拠点」「産業・物流の拠点」「レクリエーション」の3種類の拠点として位置づけする。
- ・ 各拠点の定義を踏まえて、県マス・区域マス(浜松市は都市マス)の内、役割が整合する拠点を抽出し、将来都市構造に反映する。

都市の拠点の定義	アップデートの方向性
【レベル①：都市圏中心(西遠都市圏の中核を担う拠点)】 ・ 都市圏の玄関口となる広域的な交通結節点である鉄道駅を有し、国・県等の行政機能、大規模集客施設や商店街等の商業機能、一般病院等の医療機能、専門学校や高等専門学校等の教育機能等の集積を図る拠点	<静岡県都市計画マスタープラン> ・ 広域拠点(県土全体の中核を担う拠点)を抽出・反映を抽出・反映
【レベル②：地域拠点(各市町の魅力と活力を牽引する拠点)】 ・ 地域の代表的な交通結節点である鉄道駅等を有し、地域特性に応じて、市町の行政機能、中心市街地にふさわしい商業機能、一般病院・診療所等の医療機能、その他、教育機能・福祉機能等の集積を図る拠点	<浜松市：都市マス> ・ 地域拠点(地域特性に応じて都市生活を支える拠点)を抽出・反映。 <浜松市以外：区域マス> ・ 都市拠点(都市の魅力と活力を牽引する拠点)を抽出・反映。
【レベル③：生活拠点(身近な生活を支える拠点)】 ・ 身近な生活圏で必要とする都市機能を集積を図る拠点	<浜松市：都市マス> ・ 主要生活拠点(日常生活を支える都市機能)を抽出・反映。 <浜松市以外：区域マス> ・ 地域拠点(身近な生活圏で必要とする都市機能を集積する拠点)を抽出・反映。
産業・物流の拠点の定義	アップデートの方向性
【産業拠点】 ・ 工場・研究施設等の産業系施設及び流通施設の集積を図る拠点	<浜松市：都市マス> ・ 産業拠点を抽出・反映。 <浜松市以外：区域マス> ・ 産業拠点を抽出・反映。
レクリエーション拠点の定義	アップデートの方向性
【観光・レクリエーション交流拠点】 ・ 観光施設・観光資源の集積を活かし、関係人口・交流人口の増加を図る拠点	・ 広域的な観光・レクリエーション拠点として、前回計画同様、エリアとして設定。 ・ 設定するエリアは前回計画を踏襲することを基本として、上位・関連計画である都市マス(浜松市)、区域マス(浜松市以外)との整合を確認する。

2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【①拠点】

「都市の拠点」のアップデート



レベル①：都市圏中心

浜松市	浜松都心
-----	------

レベル②：地域拠点

浜松市	浜北副都心、志都呂・堀出前地区、気賀地区、二俣・西鹿島地区
磐田市	JR磐田駅周辺
掛川市	JR掛川駅周辺【追加】
袋井市	JR袋井駅周辺
湖西市	JR鷲津駅周辺
菊川市	JR菊川駅周辺【追加】
森町	森町役場周辺

レベル③：生活拠点

浜松市	小林駅周辺、上島駅周辺、JR高塚駅周辺、JR天竜川駅周辺、追分地区【追加】、住吉地区【追加】
磐田市	福田地区中心部、竜洋地区中心部、JR豊田町駅周辺、JR御厨駅周辺
掛川市	大東地区【追加】、大須賀地区【追加】
袋井市	JR 愛野駅周辺、上山梨地区周辺、浅羽支所周辺
湖西市	JR新所原駅周辺、JR新居町駅周辺
菊川市	小笠地区【追加】
森町	—

※上位・関連計画に位置付けがない前回計画の拠点に関しては、本計画では拠点として位置づけないことを想定（次頁参照）

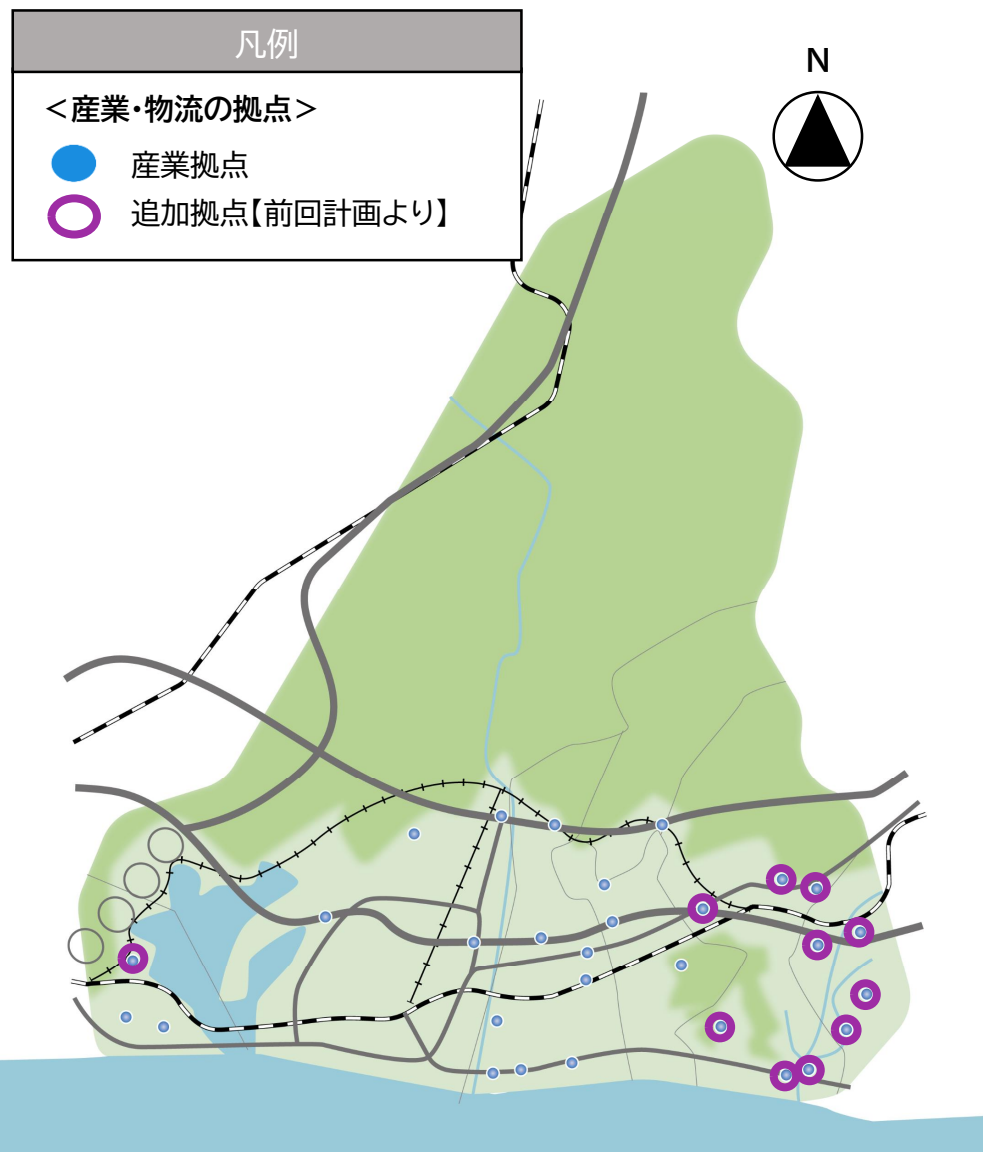
2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【①拠点】

参考：現行の上位・関連計画に位置付けがない前回計画の拠点【都市の拠点】



2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【①拠点】

「産業・物流の拠点」のアップデート



産業拠点

浜松市	浜松IC周辺、浜松西IC周辺、 浜松スマートIC・新都田地区周辺、浜松浜北IC周辺
磐田市	遠州豊田スマートIC周辺地区、福田南部工専地区、 竜洋南部工専地区、駒場工業地区、十束工業地区、 磐田東部工業団地地区、岩井工専地区、 新磐田スマートIC周辺
掛川市	掛川市街地西部【追加】、エコポリス【追加】、 新エコポリス【追加】、大須賀市街地北部【追加】、 国浜地区【追加】、千浜地区【追加】
袋井市	袋井IC周辺、豊沢地区
湖西市	笠子地区、(都)大倉戸茶松線沿道地区、大森地区【追加】
菊川市	菊川市街地周辺(西)【追加】、菊川市街地周辺(東)【追加】、 小笠市街地南西部【追加】、横地地区【追加】
森町	森掛川IC周辺、中川下地区

※上位・関連計画に位置付けがない前回計画の拠点に関しては、本計画では拠点として位置づけないことを想定(次頁参照)

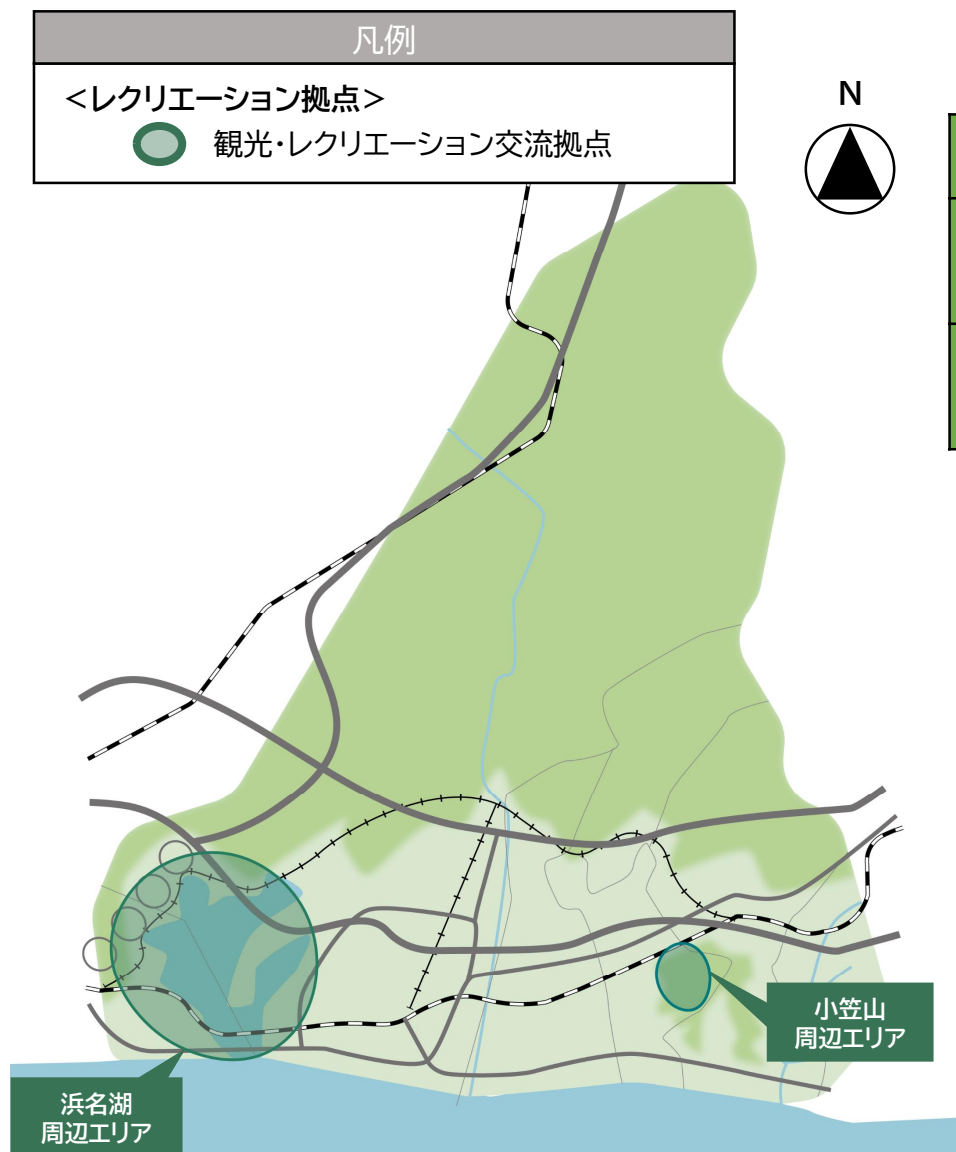
2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【①拠点】

参考：現行の上位・関連計画に位置付けがない前回計画の拠点【産業・物流の拠点】



2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【①拠点】

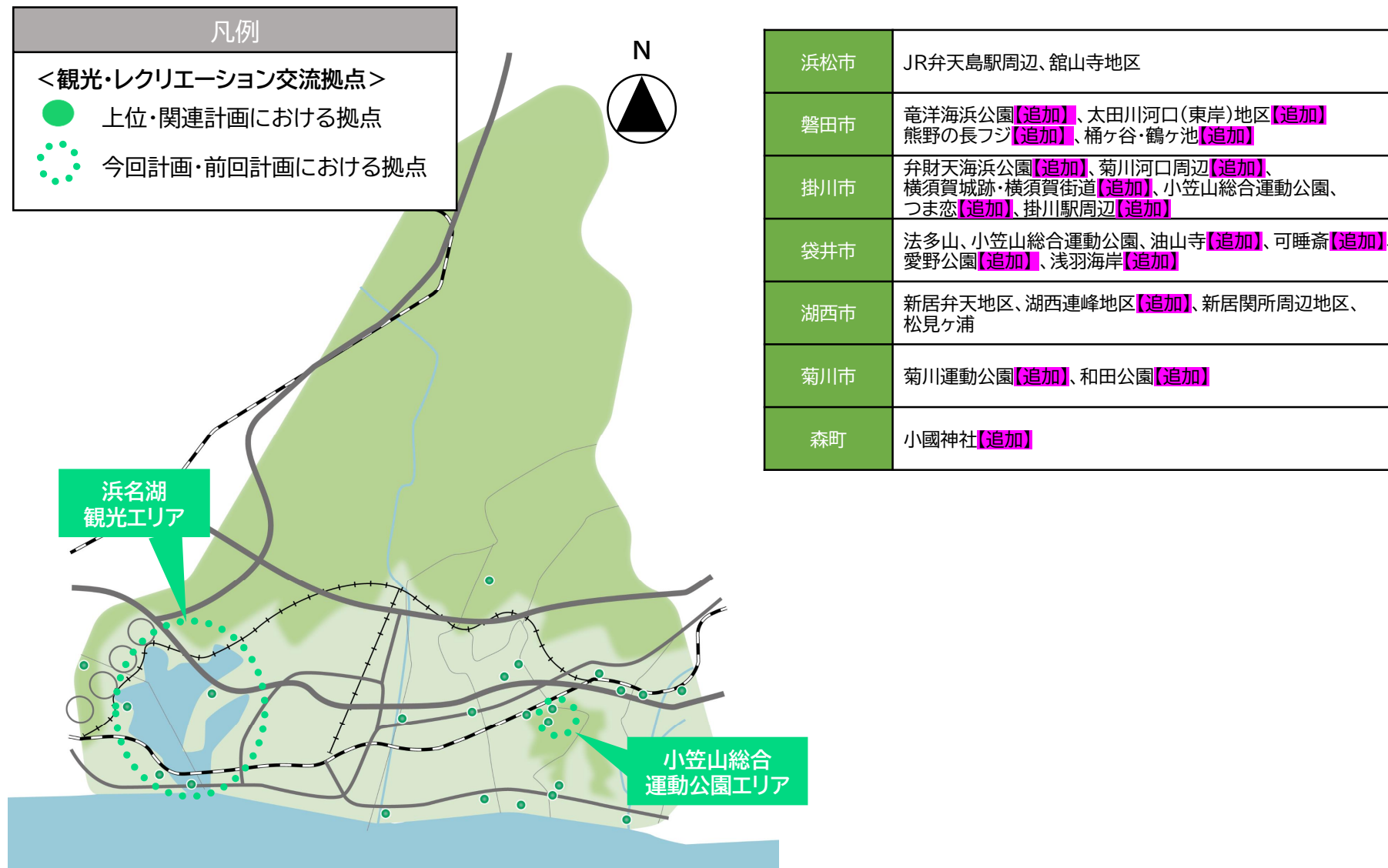
「レクリエーション拠点」のアップデート



前回計画 の拠点	上位・関連計画(※)に位置付けにある拠点 ※浜松市:都市マス、浜松市以外:区域マス	
浜名湖 周辺エリア	浜松市	JR弁天島駅周辺、舘山寺地区
	湖西市	新居弁天地区、湖西連峰地区、 新居関所周辺地区、松見ヶ浦
小笠山 周辺エリア	掛川市	小笠山総合運動公園
	袋井市	法多山、小笠山総合運動公園

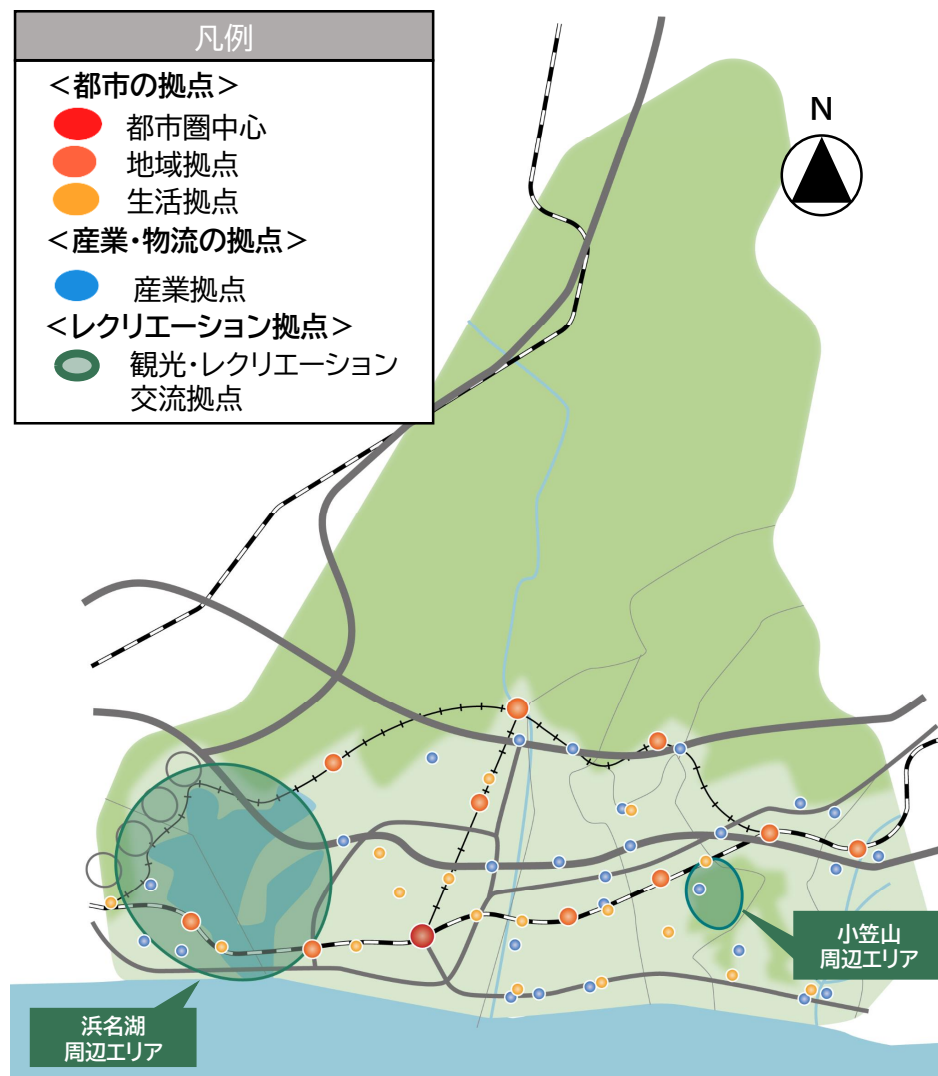
2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【①拠点】

参考：上位・関連計画における拠点



2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【①拠点】

全拠点のアップデート(その1)



都市の拠点

レベル①：都市圏中心

浜松市	浜松都心
-----	------

レベル②：地域拠点

浜松市	浜北副都心、志都呂・堀出前地区、気賀地区、二俣・西鹿島地区
磐田市	JR磐田駅周辺
掛川市	JR掛川駅周辺
袋井市	JR袋井駅周辺
湖西市	JR鷺津駅周辺
菊川市	JR菊川駅周辺
森町	森町役場周辺

レベル③：生活拠点

浜松市	小林駅周辺、上島駅周辺、JR高塚駅周辺、JR天竜川駅周辺、追分地区、住吉地区
磐田市	福田地区中心部、竜洋地区中心部、JR豊田町駅周辺、JR御厨駅周辺
掛川市	大東地区、大須賀地区
袋井市	JR 愛野駅周辺、上山梨地区周辺、浅羽支所周辺
湖西市	JR新所原駅周辺、JR新居町駅周辺
菊川市	小笠地区
森町	—

2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【①拠点】

全拠点のアップデート(その2)

産業・物流の拠点

産業拠点

浜松市	浜松IC周辺、浜松西IC周辺、 浜松スマートIC・新都田地区周辺、浜松浜北IC周辺
磐田市	遠州豊田スマートIC周辺地区、福田南部工専地区、 竜洋南部工専地区、駒場工業地区、十束工業地区、 磐田東部工業団地地区、岩井工専地区、 新磐田スマートIC周辺
掛川市	掛川市街地西部、エコポリス、新エコポリス、 大須賀市街地北部、国浜地区、千浜地区
袋井市	袋井IC周辺、豊沢地区
湖西市	笠子地区、(都)大倉戸茶松線沿道地区、大森地区
菊川市	菊川市街地周辺(西)、菊川市街地周辺(東)、 小笠市街地南西部、横地地区
森町	森掛川IC周辺、中川下地区

レクリエーション拠点

観光・レクリエーション交流拠点

浜名湖 周辺エリア	浜松市	JR弁天島駅周辺、舘山寺地区
	湖西市	新居弁天地区、湖西連峰地区、 新居関所周辺地区、松見ヶ浦
小笠山 周辺エリア	掛川市	小笠山総合運動公園
	袋井市	法多山、小笠山総合運動公園

2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【②都市圏軸】

- ・ 前回計画と同様、「都市圏骨格軸」「拠点連携軸」「拠点連携軸」の3種類の都市圏軸として位置づけする。
- ・ また、西遠都市圏と都市圏外を結ぶ広域ネットワークを「広域交流軸」として位置づけする。
- ・ 都市圏軸は下表の定義に基づき、設定する(詳細は次頁参照)。

	都市圏軸の定義
都市圏骨格軸	■「地域拠点」から「都市圏中心」に公共交通で容易にアクセスできる環境を構築する都市圏軸 ・ 「地域拠点」と「都市圏中心」を結ぶ
地域骨格軸	■「生活拠点」から上位の拠点(都市圏中心・地域拠点)に公共交通で容易にアクセスできる環境を構築する都市圏軸 ・ 「生活拠点」と上記の拠点(都市圏中心・地域拠点)を結ぶ
拠点連携軸	■「都市の拠点」「産業・物流の拠点」の間を容易に移動できる環境を構築する都市圏軸 ・ 「都市の拠点(都市圏中心・地域拠点)」と「産業・物流の拠点」を結ぶ
	■「都市の拠点」から「レクリエーション拠点」に容易にアクセスできる環境を構築する都市圏軸 ・ 最寄りの「都市の拠点(都市圏中心・地域拠点)」と「レクリエーション拠点」を結ぶ
	■同一階層の「都市の拠点」の間を容易に移動できる環境を構築する都市圏軸 ・ 「都市の拠点(地域拠点)」間を結ぶ
	■都市圏骨格軸・地域骨格軸の機能強化に資する都市圏軸 ・ 複数の都市圏骨格軸・地域骨格軸をつなげることで機能強化を図る都市圏軸
	■「北遠エリア」から最寄りの「都市の拠点(域外も含む)」に公共交通で容易にアクセスできる環境を構築する都市圏軸 ・ 「北遠エリア」と最寄りの「都市の拠点(域外も含む)」を結ぶ



広域交流軸	■都市圏・都市圏外を結ぶ広域ネットワーク ・ 広域道路(静岡県における新広域道路交通計画) ・ JR東海道線 ・ 県外・国外へのゲートウェイである御前崎港へのアクセス道路である国道150号(県マスの都市連携軸に位置付け)
-------	---

2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【②都市圏軸】

■アップデートの方向性(都市圏骨格軸・地域骨格軸)

都市圏骨格軸	■「地域拠点」から「都市圏中心」に容易にアクセスできる環境を構築する都市圏軸 ・「地域拠点」と「都市圏中心」を結ぶ ➡各地域拠点は必ず都市圏中心にアクセスできるように下表の様に都市圏軸を設定。
--------	--

地域拠点	接続先の「都市圏中心」	都市圏骨格軸の設定方法	地域拠点	接続先の「都市圏中心」	都市圏骨格軸の設定方法
浜松市	浜北副都心	「浜松市都市計画マスタープラン」における拠点間連携軸の内、左記の拠点間を結ぶ軸を抽出・反映。	磐田市	JR磐田駅周辺	「静岡県都市計画マスタープラン」における都市連携軸(広域拠点を結ぶ都市と周辺の都市間を結ぶ連携軸)の内、先の拠点を結ぶ軸を抽出・反映。
	志都呂		掛川市	JR掛川駅周辺	
	堀出前地区		袋井市	JR袋井駅周辺	
	気賀地区		湖西市	JR鷺津駅周辺	
	二俣・西鹿島地区		菊川市	JR菊川駅周辺	
			森町	森町役場周辺	

地域骨格軸	■「生活拠点」から上位の拠点(都市圏中心・地域拠点)に容易にアクセスできる環境を構築する都市圏軸 ・「生活拠点」と上位の拠点(都市圏中心・地域拠点)を結ぶ ➡各生活拠点は必ず上位の拠点にアクセスできるように下表の様に都市圏軸を設定。
-------	--

生活拠点		接続先の 「地域拠点・都市圏中心」	地域骨格軸の 設定方法	生活拠点		接続先の 「地域拠点等」	地域骨格軸の 設定方法
浜松市	小林駅周辺	浜北副都心【地域拠点】	「浜松市都市計画マスタープラン」における拠点間連携軸の内、左記の拠点間を結ぶ軸を抽出・反映(※1)。	袋井市	JR 愛野駅周辺	JR袋井駅周辺【地域拠点】	「袋井市都市計画マスタープラン」における都市圏軸の内、左記の拠点間を結ぶ軸を抽出・反映(※3)。
	上島駅周辺	浜松都心【都市圏中心】			上山梨地区周辺	JR袋井駅周辺【地域拠点】	
	JR高塚駅周辺	浜松都心【都市圏中心】			浅羽支所周辺	JR袋井駅周辺【地域拠点】	
	JR天竜川駅周辺	浜松都心【都市圏中心】		湖西市	JR新所原駅周辺	JR鷺津駅周辺【地域拠点】	
	追分地区	浜松都心【都市圏中心】			JR新居町駅周辺	JR鷺津駅周辺【地域拠点】	
	住吉地区	浜松都心【都市圏中心】			菊川市	小笠地区	
磐田市	福田地区中心部	JR磐田駅周辺【地域拠点】	「磐田市都市計画マスタープラン」における公共交通軸の内、左記の拠点間を結ぶ軸を抽出反映(※2)。				
	竜洋地区中心部	JR磐田駅周辺(JR豊田町駅周辺を経由)【地域拠点】					
	JR豊田町駅周辺	JR磐田駅周辺【地域拠点】					
	JR御厨駅周辺	JR磐田駅周辺【地域拠点】					
掛川市	大東地区	JR掛川駅周【地域拠点】	「掛川市都市計画マスタープラン」における市街地連携・交流軸の内、左記の拠点間を結ぶ軸を抽出・反映。				
	大須賀地区	JR掛川駅周辺【地域拠点】					

※1:抽出・反映した地域骨格軸は都市圏骨格軸と重複。

※2:抽出・反映した地域骨格軸の内、JR豊田町駅周辺と磐田市中心を結ぶ軸、及びJR御厨駅周辺と磐田市中心を結ぶ軸は都市圏骨格軸と重複。

※3:抽出・反映した地域骨格軸の内、JR愛野駅周辺と袋井市中心、及び上山梨地区周辺と袋井市中心を結ぶ軸は都市圏骨格軸と重複。

2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【②都市圏軸】

■アップデートの方向性(拠点連携軸)

拠点連携軸 【その1】

■「都市の拠点」「産業・物流の拠点」の間を容易に移動できる環境を構築する都市圏軸

・ 「都市の拠点(都市圏中心・地域拠点)」と「産業・物流の拠点」を結ぶ

→「都市の拠点(都市圏中心・地域拠点)」と「産業・物流の拠点」を結ぶ役割を有する都市圏軸を
区域マス・都市マスから抽出・反映。

	拠点連携軸の 抽出元	拠点連携軸	
		都市の拠点 (都市圏中心・地域拠点)	産業・物流の拠点
浜松市	「浜松市都市計画マスタープラン」における拠点間 連携軸	浜松都心【都市圏中心】	浜松IC周辺
			浜松西IC周辺
			浜松スマートIC・新都田地区周辺
			浜松浜北IC周辺
磐田市	「磐田市都市計画マスタープラン」における産業軸	JR磐田駅周辺【地域拠点】	新磐田スマートIC周辺
掛川市	(該当する都市圏軸はなし)		
袋井市	「磐田市都市計画マスタープラン」における拠点間 ネットワーク	JR袋井駅周辺【地域拠点】	豊沢地区
湖西市	「湖西市都市計画マスタープラン」における都市内 職住近接連携軸	JR鷺津駅周辺【地域拠点】	笠子地区
			(都)大倉戸茶松線沿道地区
菊川市	「菊川市都市計画マスタープラン」における地域連 携・交流軸	JR菊川駅周辺【地域拠点】	横地地区
森町	「森町都市計画マスタープラン」におけるネットワ ーク(中心拠点とICとのネットワーク)	森町役場周辺【地域拠点】	森掛川IC周辺

2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【②都市圏軸】

■アップデートの方向性(拠点連携軸)

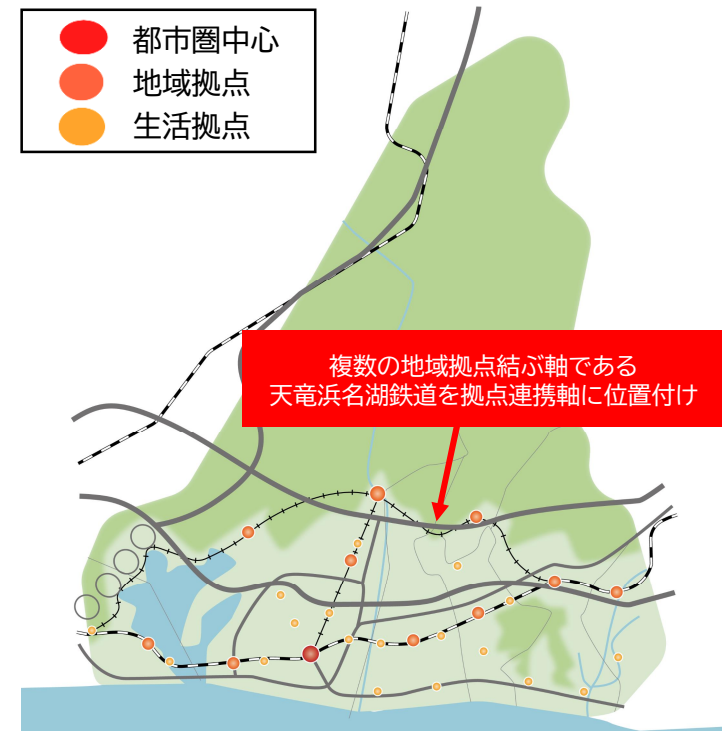
拠点連携軸 【その2】	■「都市の拠点」から「レクリエーション拠点」に容易にアクセスできる環境を構築する都市圏軸 最寄りの「都市の拠点(都市圏中心・地域拠点)」と「レクリエーション拠点」を結ぶ →各レクリエーション拠点は必ず最寄りの都市圏中心・地域拠点からアクセスできるように下表の様に都市圏軸を設定。
----------------	---

拠点連携軸 【その3】	■同一階層の「都市の拠点」の間を容易に移動できる環境を構築する都市圏軸 「都市の拠点(地域拠点)」間を結ぶ →下図の様に都市圏軸を設定。
----------------	--

レクリエーションの拠点	接続先の「都市の拠点」	拠点連携軸の設定方法
浜名湖周辺エリア	浜松都心【都市圏中心】	「浜松市都市計画マスタープラン」における拠点間連携軸の内、左記の拠点間を結ぶ軸を抽出・反映(※1)。
	JR鷲津駅周辺【地域拠点】	浜名湖周辺エリアとJR鷲津駅周辺が近接していることから、軸は設定しない。
小笠山周辺エリア	JR袋井駅周辺【地域拠点】	小笠山周辺エリアとJR袋井駅周辺が近接していることから、軸は設定しない。

※1:抽出・反映した拠点連携軸の内、湖西湖周辺エリア【JR弁天島駅周辺】と浜松都心を結ぶ軸は都市圏骨格軸と重複。

都市の拠点の配置状況



2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【②都市圏軸】

■アップデートの方向性(拠点連携軸)

拠点連携軸 【その4】

- 都市圏骨格軸・地域骨格軸の機能強化に資する都市圏軸
 - ・複数の都市圏骨格軸・地域骨格軸をつなげることで機能強化を図る都市圏軸
 - ➡複数の「都市圏骨格軸」「地域骨格軸」を結び役割を有する都市圏軸を区域マス・都市から抽出・反映。

拠点連携軸 【その5】

- 「北遠エリア」から最寄りの「都市の拠点(域外も含む)」に公共交通で容易にアクセスできる環境を構築する都市圏軸
 - ・「北遠エリア」と最寄りの「都市の拠点(域外も含む)」を結び
 - ➡下図の様に都市圏軸を設定。

拠点連携軸の抽出元

浜松市

「浜松市都市計画マスタープラン」における環状の拠点間連携軸

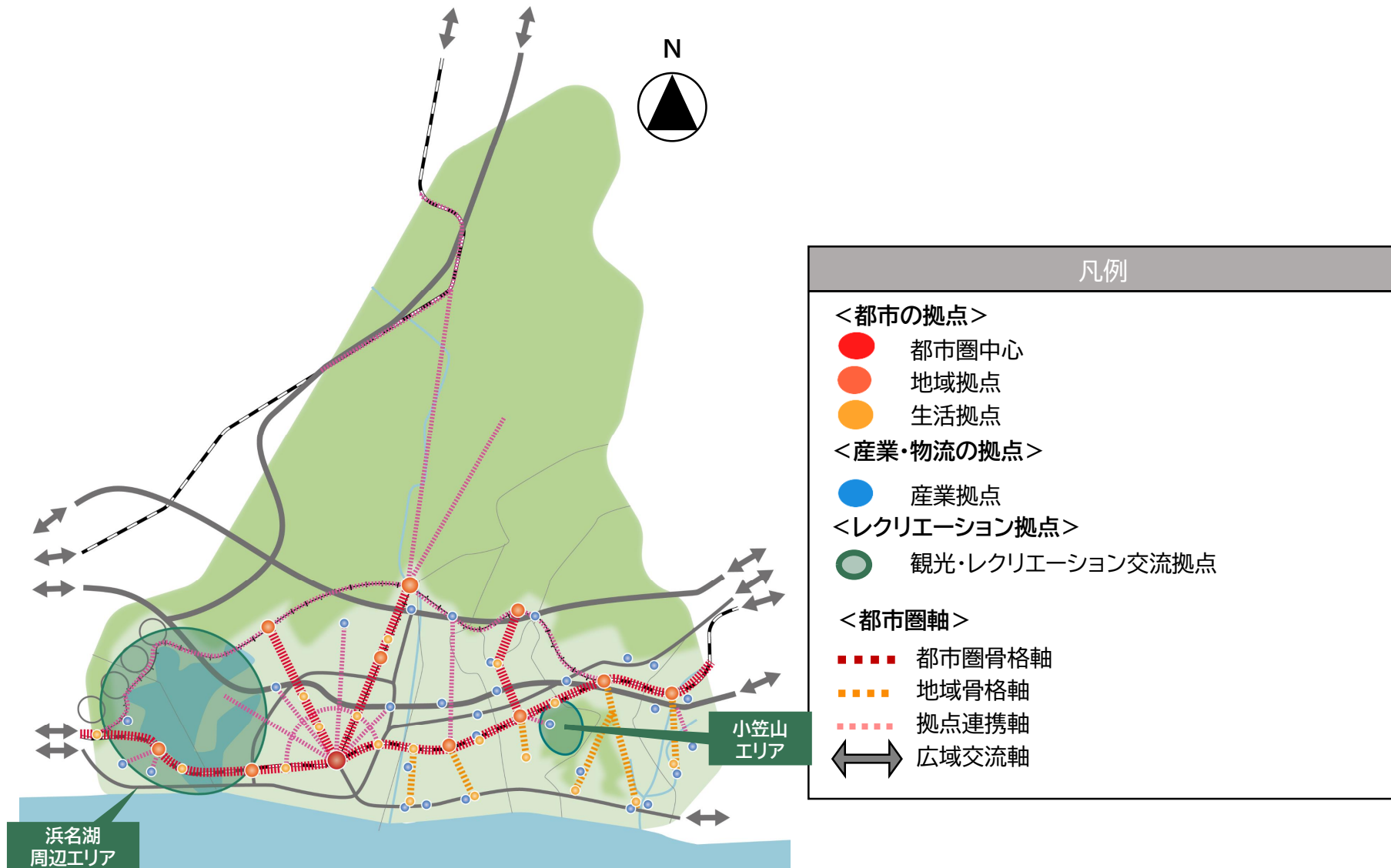


前回計画の将来都市構造



2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【②都市圏軸】

都市圏軸の設定



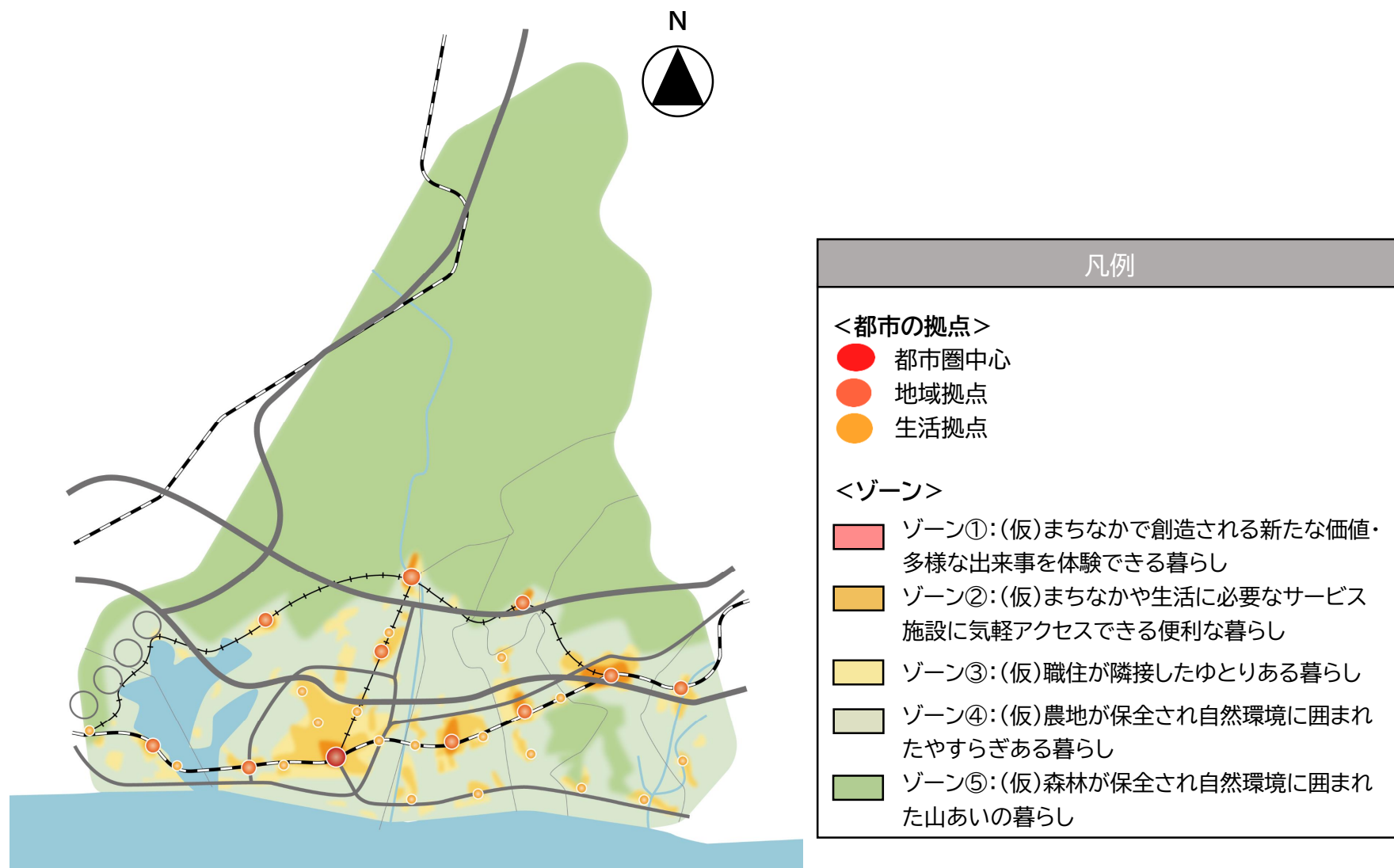
2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【③ゾーン】

- 各市町のゾーニング(都市機能誘導区域、居住誘導区域、市街化区域、都市計画区域等)を踏まえて、以下の区分でゾーンを設定する。
- なお、各ゾーンの都市サービスの考え方を「交通戦略・施策」の中で整理(次回の委員会で提示予定)。

	ゾーン設定の考え方	
ゾーン①:(仮)まちなかで創造される新たな価値・多様な出来事を体験できる暮らし	市街化区域 (非線引き都市計画区域の場合は用地地域)	・都市圏中心・地域拠点の都市機能誘導区域
ゾーン②:(仮)まちなかや生活に必要なサービス施設に気軽にアクセスできる便利な暮らし		・居住誘導区域
ゾーン③:(仮)職住が隣接したゆとりある暮らし		・居住誘導区域以外
ゾーン④:(仮)農地が保全され自然環境に囲まれたやすらぎある暮らし	市街化調整区域 (非線引き都市計画区域の場合は用途地域外)、都市計画区域外	・森林地域以外
ゾーン⑤:(仮)森林が保全され自然環境に囲まれた山あいの暮らし		・森林地域

2-2：上位・関連計画を踏まえたアップデート【③ゾーン】

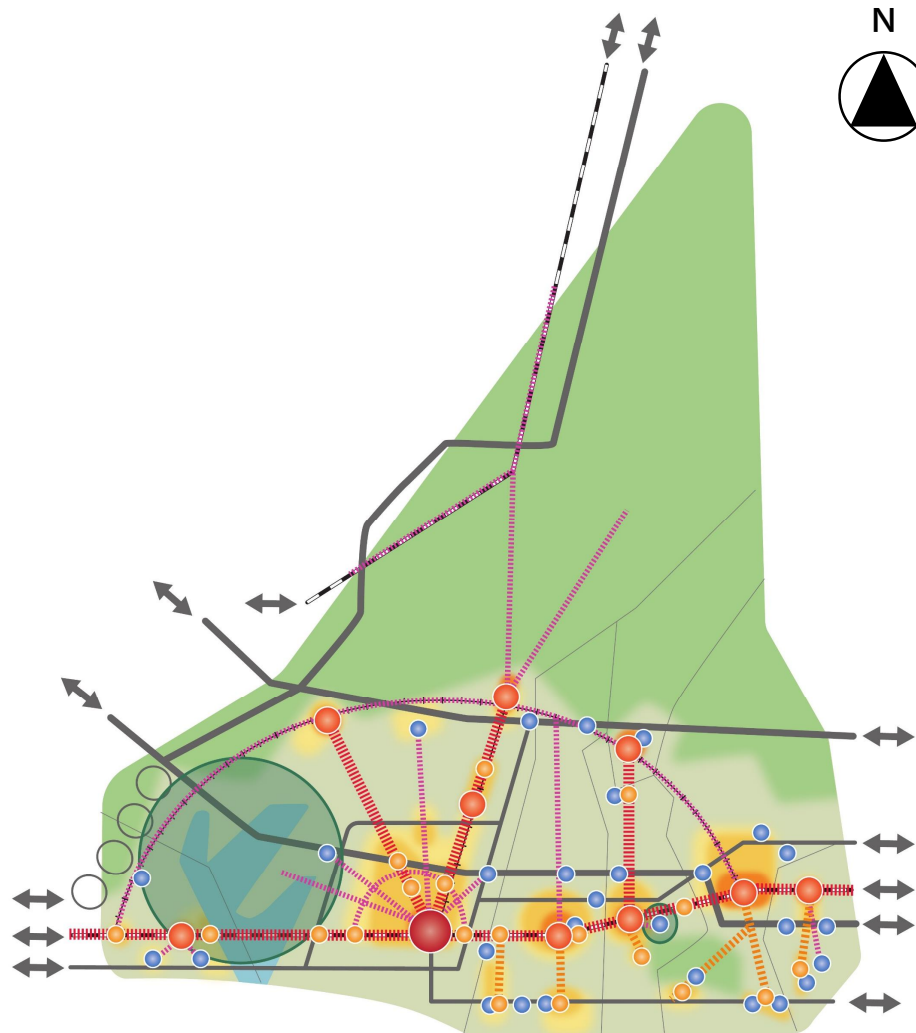
ゾーン(案)の設定



2-3：今回計画の将来都市構造（案）

- 前節の検討結果より、将来都市構造(案)を設定。

将来都市構造(案)【全域版】



凡例

<都市の拠点>

- 都市圏中心
- 地域拠点
- 生活拠点

<産業・物流の拠点>

- 産業拠点

<レクリエーション拠点>

- 観光・レクリエーション交流拠点

<都市圏軸>

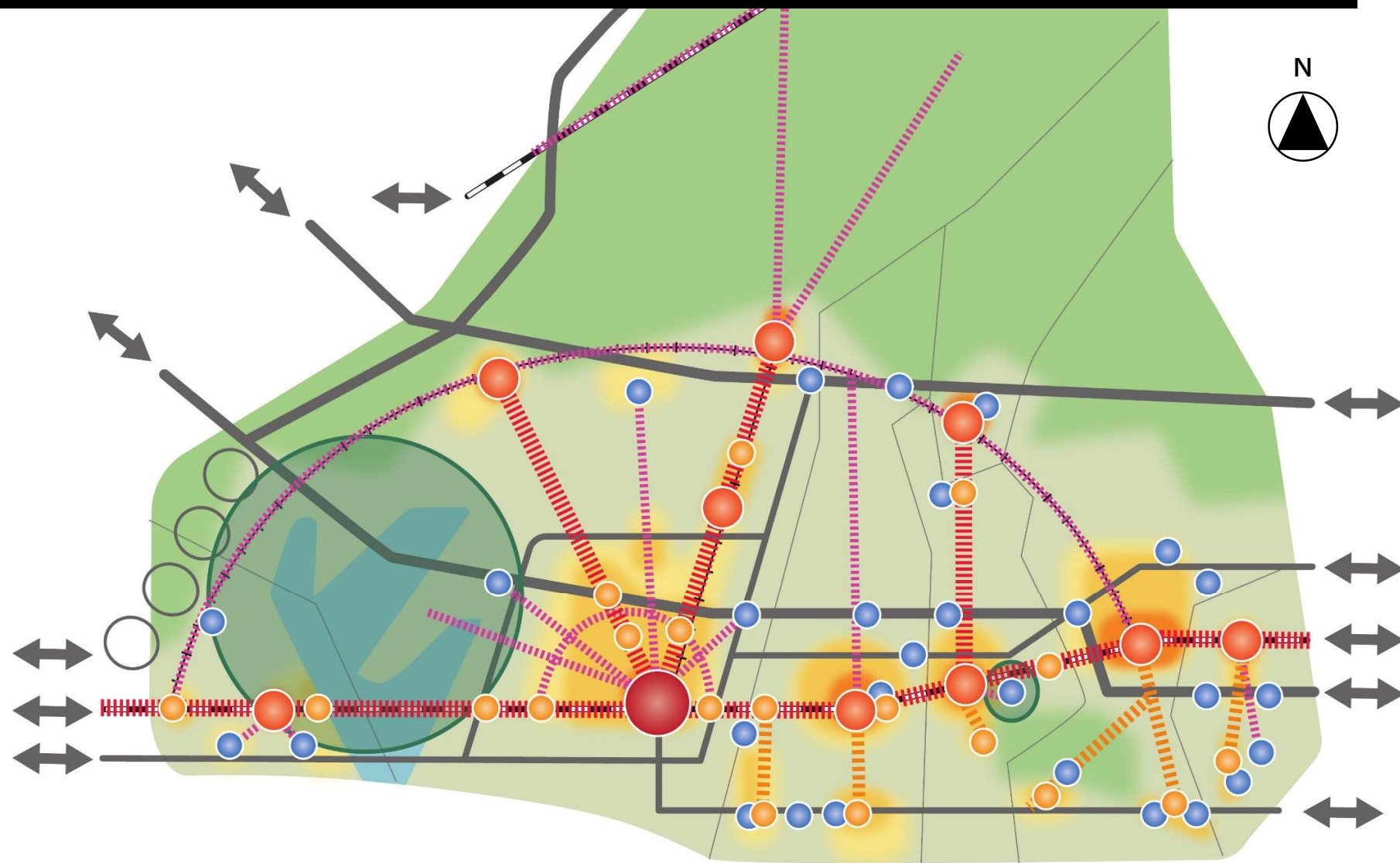
- 都市圏骨格軸
- 地域骨格軸
- 拠点連携軸
- 広域交流軸

<ゾーン>

- ゾーン①：(仮)まちなかで創造される新たな価値・多様な出来事を体験できる暮らし
- ゾーン②：(仮)まちなかや生活に必要なサービス施設に気軽アクセスできる便利な暮らし
- ゾーン③：(仮)職住が隣接したゆとりある暮らし
- ゾーン④：(仮)農地が保全され自然環境に囲まれたやさらぎある暮らし
- ゾーン⑤：(仮)森林が保全され自然環境に囲まれた山あいの暮らし

2-3：今回計画の将来都市構造（案）

将来都市構造(案)【拡大版】



参考1. 上位・関連計画における目標・将来像（第1回委員会資料抜粋）

（1）前回調査での目標と将来像

- 前回調査では、くらしやものづくりの場面に応じて多様な交通手段を選択できる持続可能な都市交通を目指して、「**拠点・公共交通軸集積型都市構造**」を目標として取り組んできた。

●基本理念

- 以下の理念に基づき、都市交通マスタープランを策定しています。

くらしやものづくりの場面に応じて多様な交通手段を選択できる
持続可能な都市交通を目指して

●目標とする将来都市像

■拠点・公共交通軸集積型都市圏構造

都市の拠点や公共交通沿線に居住地や商業施設等の都市機能を集積させ、クルマとそれ以外の交通手段をバランスよく利用することができる都市の実現を目標とします。

●目標

■都市圏構造の目標

- 既存の都市ストックを有効活用し、多種多様な拠点を強化
- 公共交通を軸として、拠点間の連携を強化
- 公共交通を中心として、まとまりある市街地を形成

■交通体系の目標

- 公共交通及び交通結節点の利便性を高め、利用を促進
- 効果的・効率的な道路整備を推進し、自動車交通を円滑化
- 交通安全や防災、ユニバーサルデザインに配慮し、安全・安心・快適な暮らしを支える移動環境を創出

■ソフト施策の目標

- 効果的なソフト施策等を導入し、公共交通やクルマのかしこい使い方を推進
- 「自分たちのモビリティ*は自分たちで守り育てる」という市民の参画意識を醸成

*個人の空間的移動の自由度。具体的には、公共交通による移動のしやすさや、快適な歩行・自転車走行空間などを指す。

●都市圏の基本構造

- 都市圏の主要な拠点和都市圏軸についての概念図は、以下のとおりです。

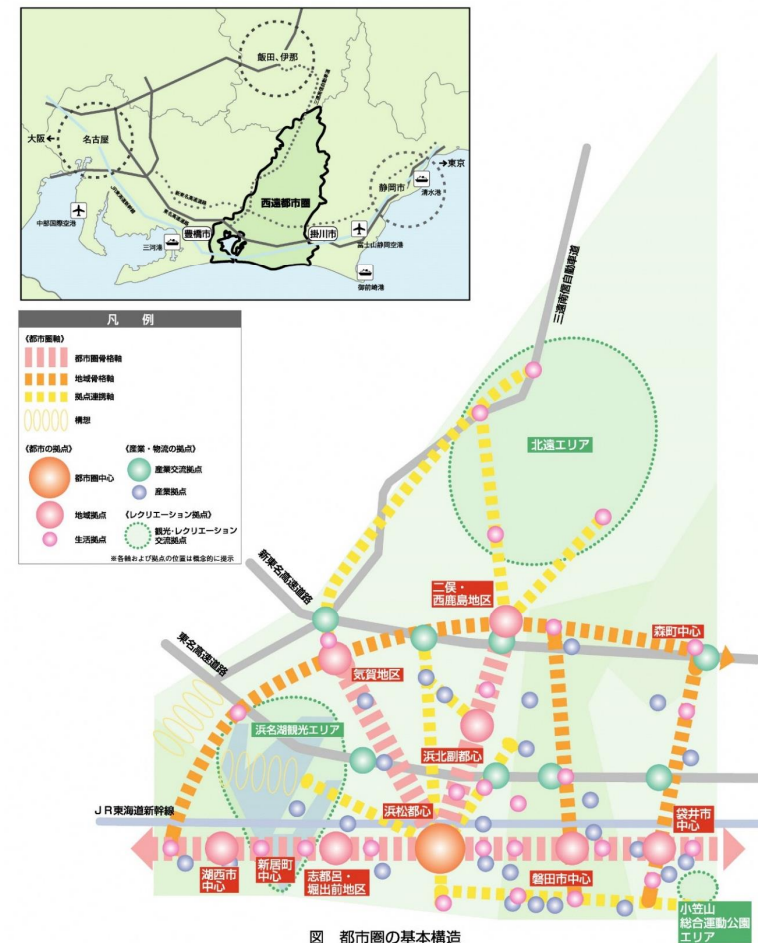


図 都市圏の基本構造

出典：第4回西遠都市圏パーソントリップ調査パンフレット

参考 1. 上位・関連計画における目標・将来像（第1回委員会資料抜粋）

（2）都市計画マスタープラン、立地適正化計画、地域公共交通計画等の計画での方向性

- 都市圏中心の「①浜松市」、隣接する「②磐田市・湖西市」、都市圏外縁の「③袋井市・森町・掛川市・菊川市」で、地域構造、施策の傾向が異なることから、3地域で整理する。

①浜松市

【地域構造】

- 浜松駅を中心に、中枢都市機能の集積を図り、周辺部へは都市拠点・地域拠点を配置したコンパクトな形態
- 都市と自然が共生できる適正な土地利用

【主な施策】

- 都心居住促進、地区計画等による郊外の居住環境改善
- 都心部の歩行環境整備、公共交通の活用・各交通機関の適正な機能分担
- 市街地形成、産業活動を支える道路網の整備

②磐田市・湖西市

【地域構造】

- JR鉄道駅、既成市街地の各拠点へのまとまりある市街地形成、拠点間の連携強化
- 周辺都市との交流促進のための交通体系確立

【主な施策】

- 総合特区等による産業立地推進、土地区画整理・宅地開発事業等による居住環境創出
- 公共交通の活用・各交通機関の適正な機能分担、地域公共交通ネットワークの形成・維持
- 拠点間の連携強化、産業活動を支える道路網の整備

③袋井市・森町・掛川市・菊川市

【地域構造】

- 幹線道路・鉄道・河川等を軸に自然と調和した市街地を形成

【主な施策】

- 地区計画等による居住環境保全、都市内緑地・都市風致の維持
- 既存公共交通の維持、地域公共交通の確保
- 隣接市・IC・空港と連携する道路網の整備、幹線道路の役割に応じた整備

参考1. 上位・関連計画における目標・将来像（第1回委員会資料抜粋）

		浜松市	磐田市	湖西市
各計画に定める基本方針	都市構造	・浜松駅を中心に、<u>中枢都市機能の集積を図り、周辺部へは適切に都市拠点、地域拠点を配置したコンパクトな形態</u>とし、産業・都市活力の創出、農地・自然環境・歴史・文化等の保全を図り、ユニバーサルデザインや防災などに配慮する。	・磐田駅、豊田町駅・磐田新駅、<u>遠州豊田スマートIC、各支所の周辺等、各拠点においてまとまりのある市街地の形成</u>を図り、拠点間の連携強化のために、交通ネットワークを構築し、自立性を高めた都市圏を形成する。	・鷺津・新所原・新居等の既成市街地と産業拠点を中心に、<u>集約・連携型の市街地形成</u>を目指し、周辺都市圏との交流促進のために、交通体系を確立し、合わせて先に示した拠点間の連携強化を目指していく。
	土地利用	・都市拠点、地域拠点を配置したコンパクトな形態（区域MP） ・都市と自然が共生できる適正な土地利用の誘導（都市MP）	・集約連携型の都市づくり（区域MP） ・コンパクトシティ・プラス・ネットワーク（都市MP） ・人口密度の維持、都市機能の向上（立適）	・持続可能なコンパクトな都市づくり（区域MP） ・市街地の特性に応じた健全かつ機能的な土地利用（都市MP）
	交通分野	・土地利用と整合のとれた交通体系の整備（区域MP） ・産業・経済・交流・観光活動を支える交通の確立（都市MP）	・交通ネットワークを計画的に構築（区域MP） ・公共交通の充実（立適）	・周辺都市圏との交流促進のための交通体系の確立（区域MP） ・拠点間の連携強化（区域MP）
	安全・快適	・安全・安心で暮らしやすい交通の実現（都市MP）	・安全で安心・快適な住みよい生活環境づくり（区域MP） ・安全性の確保（立適）	・安全・安心・快適に移動できる交通環境の充実（網形成）
	その他	・自然環境と共生・持続可能な都市（区域MP） ・市民の参加・協働によるまちづくりの推進（区域MP） ・都市活力の持続と向上（区域MP） ・地域特性を活かしたまちづくりと相互連携の強化（区域MP） ・市民生活の質の向上（区域MP）	・環境と共生する都市づくり（区域MP） ・歴史・文化が薫る都市づくり（区域MP） ・活力にみちた都市づくり（区域MP）	・自然と共生し歴史を身近に感じる都市づくり（区域MP） ・産業の多様な価値と活力を創造する都市づくり（区域MP）

参考 1. 上位・関連計画における目標・将来像（第1回委員会資料抜粋）

		浜松市	磐田市	湖西市
主な 施策内容	土地利用	・都心居住の促進（区域MP） ・地区計画制度等の導入（区域MP） ・都市型産業・歴史文化機能の集積（立適） ・子育て支援・福祉施設の立地促進（立適）	・内陸フロンティア推進区域事業の推進（都市MP） ・総合特別区域制度等の活用（都市MP）	・地区計画等の制度の活用（都市MP） ・土地区画整理事業、民間による宅地開発事業（都市MP）
	道路	・市街地形成や産業の発展に寄与する道路体系の構築（区域MP）	・都市拠点間の連携強化に資する道路網整備（区域MP） ・産業活動を促進する道路交通網の形成（都市MP）	・都市拠点間の連携強化に資する道路網整備（区域MP） ・道路種別ごとの機能確保のための整備（都市MP）
	公共交通	・公共交通の活用、各交通機関の適正な機能分担（区域MP）	・公共交通機関の活用、各交通機関の適正な機能分担（区域MP） ・公的交通機能の充実（都市MP）	・公共輸送機関の活用、各交通機関の適正な機能分担（区域MP） ・交通結節点の機能及び利便性の向上（都市MP） ・地域公共交通ネットワークの形成（網形成） ・地域公共交通を育む仕組みづくり（網形成）
	その他	・都心部の歩行者優先エリアの設定（区域MP） ・公共交通や徒歩・自転車による移動環境の確保（立適） ・道路空間や交通施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化（区域MP）		

参考1. 上位・関連計画における目標・将来像（第1回委員会資料抜粋）

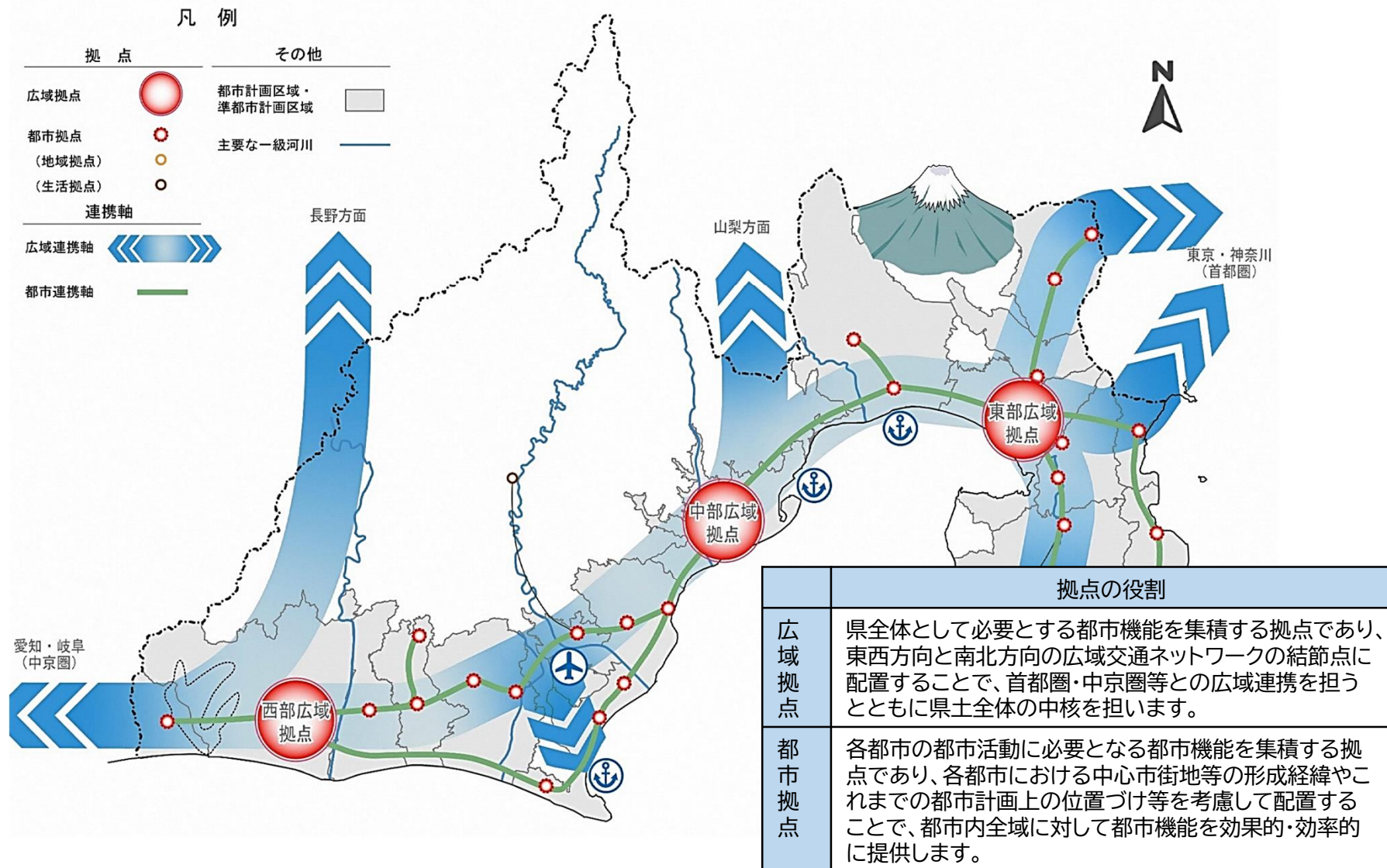
		袋井市	森町	掛川市	菊川市
各計画に定める基本方針	都市構造	・<u>袋井駅・森町役場周辺を都市拠点、愛野駅・上山梨地区・浅羽支所周辺を地域拠点として、拠点間を結ぶ幹線道路及び鉄道に沿って都市連携軸を形成</u>し、本区域内外との交流・連携を深めていく。 ・また、森掛川IC周辺の市街地形成を図り、山地・丘陵地等の田園景観への調和、ユニバーサルデザインや防災へ配慮した市街地の形成を目指していく。		・市街地周辺部を取り巻く自然緑地や、茶畑、田園などの農業地帯、区域内を流下する菊川、逆川などの諸河川を水・緑の軸として機能保全し、これらの中に<u>各地域の中心的な市街地を核としたコンパクトで緑豊かな市街地形成</u>を図ることを基本とする。	
	土地利用	・コンパクトな都市づくり（区域MP） ・住み続けたい都市づくり（区域MP） ・集約的な土地利用（都市MP）	・コンパクトな都市づくり（区域MP） ・住み続けたい都市づくり（区域MP）	・コンパクトな都市づくり（区域MP）	・コンパクトな都市づくり（区域MP）
	交通分野	・拠点間を結ぶ都市連携軸の形成（区域MP）	・拠点間を結ぶ都市連携軸の形成（区域MP）	・持続可能な公共交通体系の構築（立適）	・各拠点間を連携・連絡する交通体系の確立（都市MP） ・持続可能な公共交通網の構築（網形成）
	安全・快適	・災害に強く安全で安心して暮らせる都市づくり（区域MP）	・災害に強く安全で安心して暮らせる都市づくり（区域MP）	・安全・安心・快適な都市づくり（区域MP）	・安全・安心・快適な都市づくり（区域MP）
	その他	・自然、歴史、文化と調和・共生した都市づくり（区域MP） ・住民・企業・行政がともに進める都市づくり（区域MP）	・自然、歴史、文化と調和・共生した都市づくり（区域MP） ・住民・企業・行政がともに進める都市づくり（区域MP）	・環境と調和・共生した都市づくり（区域MP） ・市民・企業・行政等の協働による都市づくり（区域MP） ・産業・活力を生み出す都市づくり（区域MP） ・地域資源を活かした都市づくり（区域MP）	・環境と調和・共生した都市づくり（区域MP） ・市民・企業・行政等の協働による都市づくり（区域MP） ・産業・活力を生み出す都市づくり（区域MP） ・地域資源を活かした都市づくり（区域MP）

参考 1. 上位・関連計画における目標・将来像（第1回委員会資料抜粋）

		袋井市	森町	掛川市	菊川市
主な 施策 内容	土地 利用	- 地区計画制度等の導入（区域MP） - 歴史的風致の維持及び向上（区域MP） - 用途地域内の未利用地有効活用（都市MP） - 袋井駅南まちづくり事業（立適）	- 地区計画制度等の導入（区域MP） - 歴史的風致の維持及び向上（区域MP） - 地区計画制度等の適切な運用（都市MP） - IC活用地域振興エリア及び土地利用検討エリアの周辺環境との調和（都市MP）	- 掛川駅周辺の土地利用の高度化（区域MP） - 地区計画、建築協定、等による居住環境保全（区域MP） - 都市内緑地又は都市風致の維持（区域MP） - 浸水想定範囲の防災性の向上（立適）	- 地区計画、建築協定、等による居住環境保全（区域MP） - 都市内緑地又は都市風致の維持（区域MP）
	道路	道路網見直し、自動車に依存しない交通体系の確立（都市MP）	- 幹線道路の役割や機能に応じた整備（都市MP） - 都市計画道路整備プログラムに基づく整備（都市MP）	- 富士山静岡空港や御前崎港等の広域交通拠点及び隣接都市との道路ネットワーク（区域MP） - 東名、新東名の相互連絡（区域MP）	- 富士山静岡空港や御前崎港等の広域交通拠点及び隣接都市との道路ネットワーク（区域MP） - 東名、新東名の相互連絡（区域MP）
	公共 交通	- 公共交通を含めた総合的な交通体系の構築（区域MP） - 公共交通利用環境の改善（都市MP）	- 公共交通を含めた総合的な交通体系の構築（区域MP） - 既存公共交通機関の維持（都市MP） - 利用しやすい公共交通体系の確立（都市MP）	- 広域的な公共交通の利便性向上（都市MP） - 市街地循環バスの維持・改善（立適） - 地域公共交通を守り・育む（網形成）	- 拠点と集落を結ぶ生活交通の確保（都市MP） - コミュニティバス再編、路線バス・自主運行バスの維持（網形成） - 運転手の確保（網形成）
	その他	- 徒歩、自転車の移動環境向上（都市MP） - 袋井駅南北自由通路（立適）	歩行者や自転車、自動車が安全に利用できる道路環境の整備（都市MP）		- 拠点の自転車・歩行者の安全確保（都市MP） - 高齢者外出支援（網形成）

参考 2：上位・関連計画における拠点

静岡県都市計画マスタープランにおける拠点の位置づけ



参考2：上位・関連計画における拠点

区域マスにおける拠点の位置づけ(黄色着色部が前回計画で位置付けがなかった拠点)【その1】

	策定年次	対象区域	都市の拠点	産業・物流の拠点	レクリエーション拠点
静岡県	令和3年	磐田都市計画区域	磐田市 <都市拠点> ・JR磐田駅周辺 <地域拠点> ・福田地区中心部 ・竜洋地区中心部 ・豊岡地区中心部 ・豊田地区中心部 ・遠州豊田スマートインターチェンジ周辺 ・JR豊田町駅周辺 ・JR御厨駅周辺	<産業拠点> ・太田川河口(西岸)地区 ・福田南部工専地区 ・竜洋南部工専地区 ・駒場工業地区 ・十束工業地区 ・磐田東部工業団地地区 ・岩井工専地区 ・磐田IC ・遠州豊田スマートIC周辺地区 ・新磐田スマートIC ・新磐田スマートIC周辺地区	<観光・レクリエーション拠点> ・竜洋海浜公園 ・太田川河口(東岸)地区 ・熊野の長フジ ・桶ヶ谷・鶴ヶ池 ・豊岡総合センター
	令和3年	湖西都市計画区域	湖西市 <都市拠点> ・鷺津市街地 <地域拠点> ・新所原市街地 ・新居市街地	<産業拠点> ・笠子地区 ・浜名湖西岸地区 ・大森地区	<観光・レクリエーション拠点> ・新弁天地区【浜名湖観光エリア】 ・新居弁天地区【浜名湖観光エリア】 ・湖西連峰地区
	令和3年	中遠広域都市計画区域	袋井市 <都市拠点> ・JR袋井駅周辺 <地域拠点> ・JR 愛野駅周辺 ・上山梨地区周辺 ・浅羽支所周辺	<産業拠点> ・小笠山麓地区 ・豊沢地区 ・袋井IC周辺	<観光拠点> ・法多山【小笠山総合運動公園エリア】 ・小笠山総合運動公園 【小笠山総合運動公園エリア】 ・油山寺 ・愛野公園 ・可睡斎 ・浅羽海岸
			森町 <都市拠点> 天竜浜名湖線遠州森駅周辺	<産業拠点> ・森掛川IC周辺 ・中川下地区	<観光拠点> ・小國神社
	令和3年	東遠広域都市計画区域	掛川市 <都市拠点> ・JR掛川駅周辺 <地域拠点> ・大東区域 ・大須賀区域	<産業拠点> ・上西郷地区 ・新エコポリス ・南西郷地区 ・大坂・土方地区 ・国浜地区 ・エコポリス ・掛川市街地西部 ・上土方地区 ・大須賀市街地北部 ・千浜地区	<観光・レクリエーション拠点> ・弁財天海浜公園 ・菊川河口周辺 ・横須賀城跡・横須賀街道 ・小笠山総合運動公園 【小笠山総合運動公園エリア】 ・つま恋 ・JR掛川駅周辺(歴史文化ゾーン)
			菊川市 <都市拠点> ・JR菊川駅周辺 <地域拠点> ・菊川IC周辺 ・下平川地区	<産業拠点> ・菊川市街地周辺(西) ・小笠市街地南西部 ・菊川市街地周辺(東) ・横地地区	<観光・レクリエーション拠点> ・菊川運動公園 ・和田公園

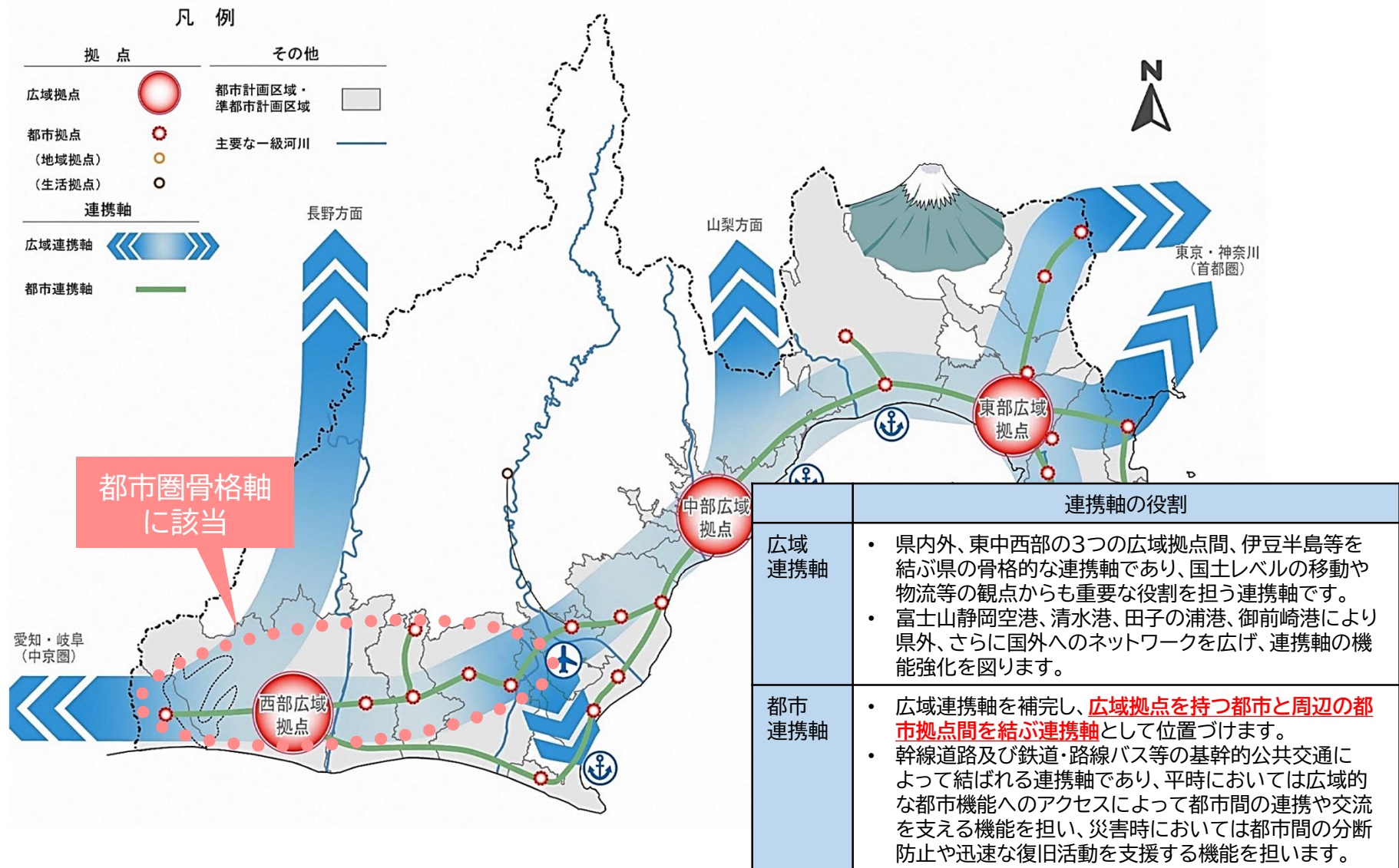
参考２：上位・関連計画における拠点

都市マスにおける拠点の位置づけ(黄色着色部が前回計画で位置付けがなかった拠点)【その２】

	策定年次	計画名	都市の拠点	産業・物流の拠点	レクリエーション拠点
浜松市	令和3年	浜松市都市計画 マスタープラン	<都心> JR浜松駅周辺 <副都心> 浜北駅・小松駅周辺 <地域拠点> 二俣・西鹿島地区 気賀駅周辺 志都呂・堀出前地区 <主要生活拠点> 小林駅周辺 上島駅周辺 JR高塚駅周辺 JR天竜川駅周辺 追分地区 住吉地区	<産業拠点> ・浜松IC周辺 ・浜松西IC周辺 ・浜松スマートIC・新都田地区周辺 ・浜松浜北IC周辺	<観光拠点> ・JR弁天島駅周辺【浜名湖観光エリア】 ・館山寺地区【浜名湖観光エリア】

参考 3-1：上位・関連計画（県マス）における都市圏軸

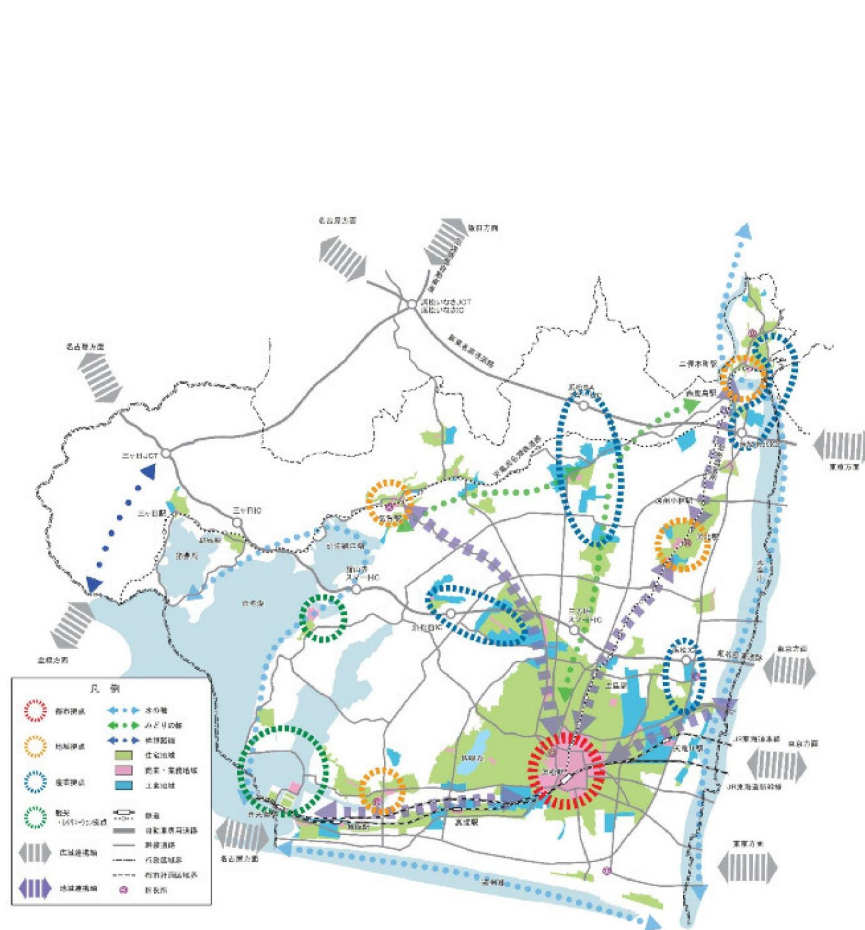
静岡県都市計画マスタープランにおける都市圏軸の位置づけ



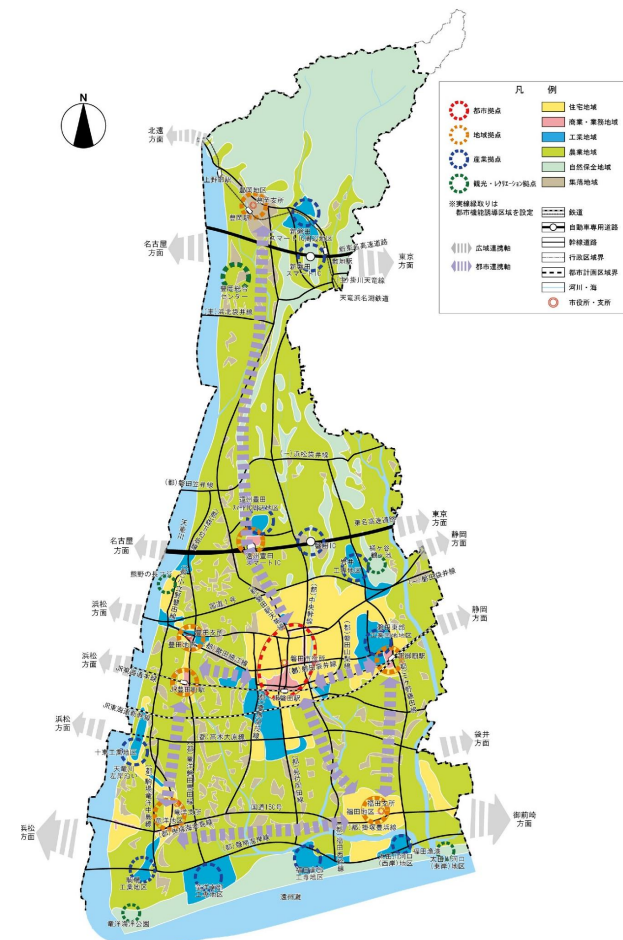
参考 3 -1：上位・関連計画（区域マス）における都市圏軸

区域マスにおける都市圏軸の位置づけ【その1】

■浜松都市計画区域(令和3年3月)



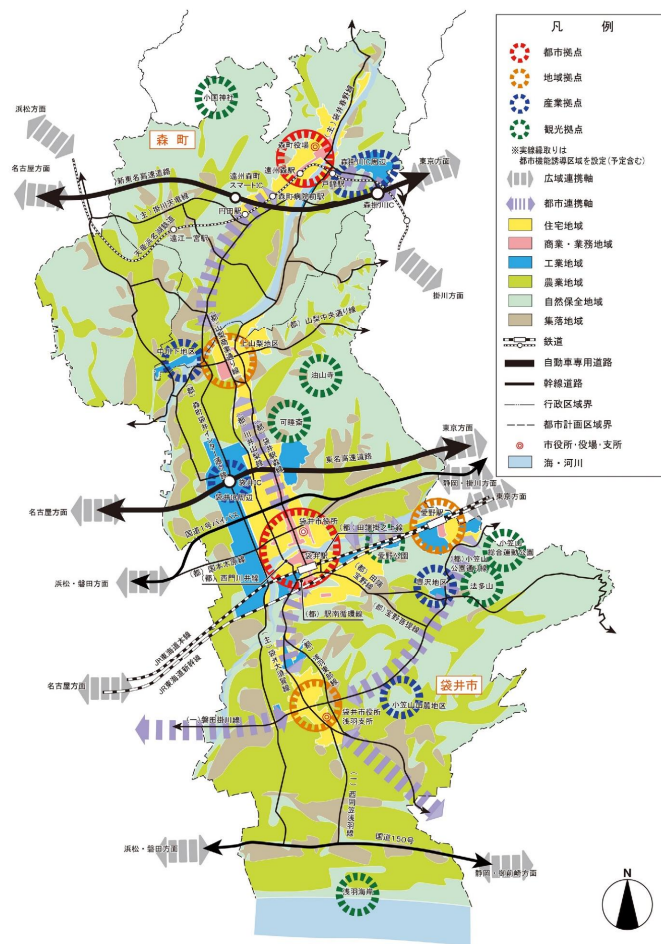
■磐田都市計画区域(令和3年3月)



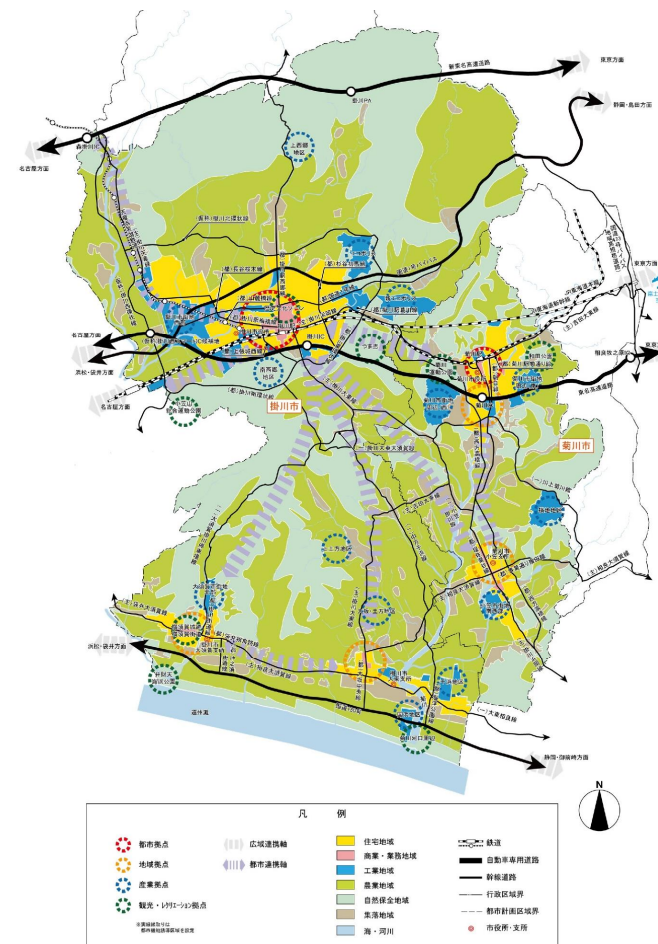
参考3-1：上位・関連計画（区域マス）における都市圏軸

区域マスにおける都市圏軸の位置づけ【その2】

■中遠広域都市計画区域(令和3年3月)



■東遠広域都市計画区域(令和3年3月)



区域マスにおける都市圏軸の位置づけ【その3】

The map illustrates the spatial distribution of land use and transportation infrastructure in the Hamamatsu region. Key features include:

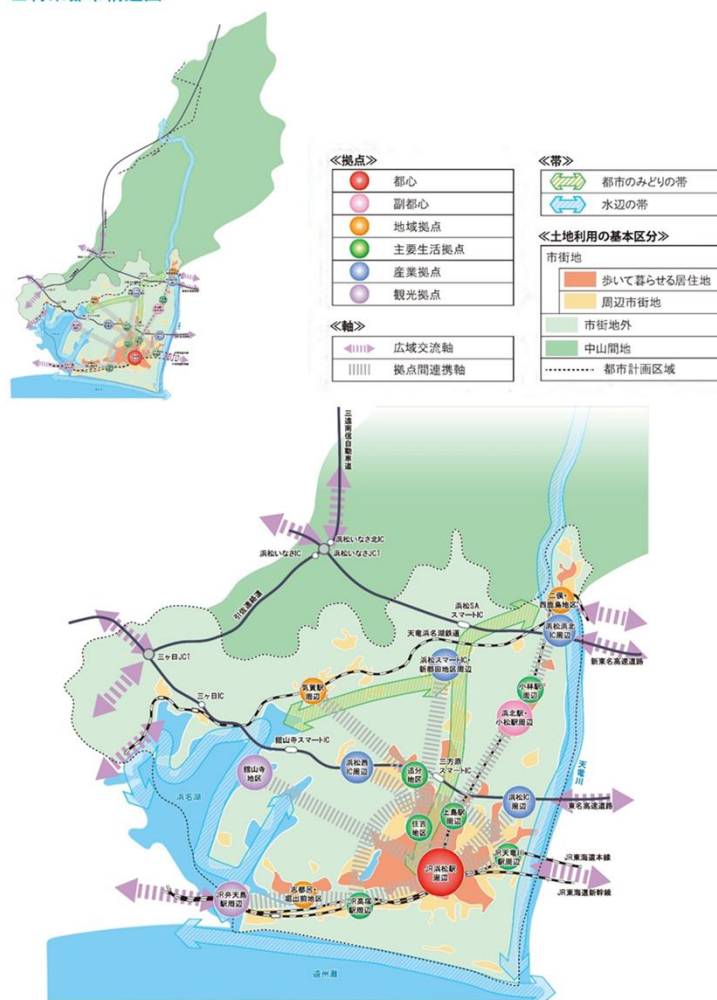
- Land Use Zones:**
 - 都市拠点 (Urban Core):** Represented by red dashed circles, indicating major urban centers like Hamamatsu City and Shikoku New Town.
 - 地域拠点 (Regional Core):** Represented by orange dashed circles, indicating secondary urban centers.
 - 産業拠点 (Industrial Core):** Represented by blue dashed circles, indicating industrial zones.
 - 観光・レジャー・リゾート拠点 (Tourism/Leisure/Resort Core):** Represented by green dashed circles, indicating areas for tourism and recreation.
 - 住宅地域 (Residential Area):** Yellow solid areas.
 - 商業・業務地域 (Commercial/Business Area):** Red solid areas.
 - 工業地域 (Industrial Area):** Blue solid areas.
 - 農業地域 (Agricultural Area):** Green solid areas.
 - 自然保全地域 (Natural Conservation Area):** Light green solid areas.
 - 集落地域 (Settlement Area):** Brown solid areas.
- Transportation Infrastructure:**
 - 鉄道 (Railway):** Black lines with cross-ticks.
 - 自動車専用道路 (Expressway):** Black lines with double white lines.
 - 幹線道路 (Main Road):** Black lines with single white lines.
 - 行政区域界 (Administrative Boundary):** Dashed black lines.
 - 都市計図区域界 (Urban Planning Area Boundary):** Dashed black lines with a different pattern.
 - 河川・湖・沼 (River/Lake/Wetland):** Blue areas.
 - 市役所・支所 (City Office/Branch Office):** Red circles with a dot.
 - その他 (Others):** Grey areas.
- Directions and Surrounding Areas:**
 - 飯田方面 (Hamamatsu direction):** Indicated by a grey arrow pointing towards the top right.
 - 北遠方面 (North-Tohoku direction):** Indicated by a grey arrow pointing towards the top left.
 - 豊橋方面 (Toyohashi direction):** Indicated by a grey arrow pointing towards the bottom left.
 - 名古屋方面 (Nagoya direction):** Indicated by a grey arrow pointing towards the bottom right.
 - 浜松方面 (Hamamatsu direction):** Indicated by a grey arrow pointing towards the right.
- Geographical Labels:**
 - 湖西連峰 (Kosei Rengei):** A mountain range in the northwest.
 - 大井地区 (Ooi District):** A region in the central-western part.
 - 笠子地区 (Kasago District):** A region in the central-southern part.
 - 浜名湖 (Hamana Lake):** A large lake in the southern part.
 - 新居市街地 (Shikoku New Town):** A major urban area in the southeast.
 - 新井天地区 (Shinrai District):** A region in the far southeast.

参考 3 - 3 : 上位・関連計画（都市マス）における都市圏軸

都市マスにおける都市圏軸の位置づけ【その1】

■浜松市都市計画マスタープラン(令和3年3月)

■将来都市構造図



■磐田市都市計画マスタープラン(平成30年3月)

(将来都市構造図)

磐田市が目指す将来都市構造

1 拠点

- 中心都市拠点や都市拠点は、にぎわいや都市の活力向上を図る場
- 地域拠点は、地域住民の生活を支える場
- 集落拠点は、周辺環境と調和したゆとりある集落地
- 産業拠点は、産業活動の中心となる場
- 交流・レクリエーション拠点は、市民や来訪者の交流を図る場
- コミュニティ拠点は、地域活動の拠点となる場

- 中心都市拠点
- 都市拠点
- 地域拠点
- 集落拠点
- 産業拠点
- 交流・レクリエーション拠点
- コミュニティ拠点

2 地域

- 市街地地域は、将来も公共交通や都市機能、一定の人口密度を保てるエリア
 - 産業地域は、拠点とともに産業振興を図る場
- 利便性の高い市街地地域 農地・集落地域
 一般市街地地域 自然保全地域
 産業地域 (海岸防衛)

3 軸

- 連携軸は、産業活動を支える幹線道路
 - 公共交通軸は、日常生活に必要な移動手段
 - 産業軸は、円滑な交通が確保されている道路
- 広域連携軸(高速道路、広域幹線道路)
 地域連携軸(一般・補助幹線道路)
 公共交通軸(鉄道、基幹バス)
 産業軸



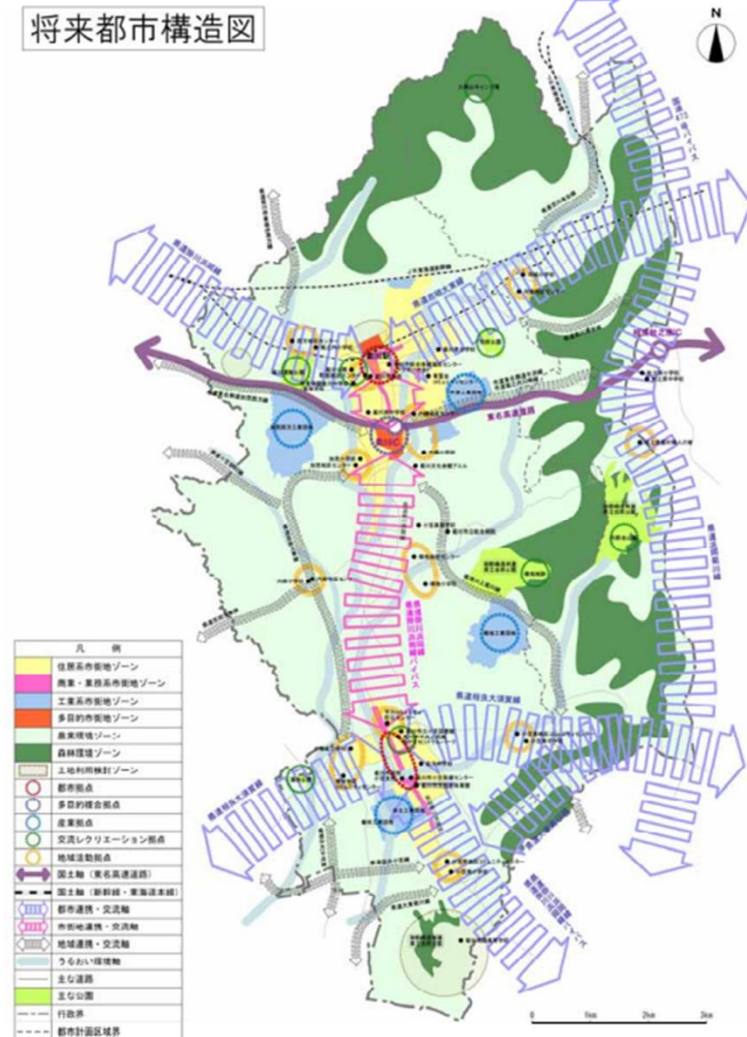
参考 3 - 3 : 上位・関連計画（都市マス）における都市圏軸

都市マスにおける都市圏軸の位置づけ【その3】

■湖西市都市計画マスタープラン(令和6年6月)



■菊川市都市計画マスタープラン(平成23年12月)



参考 3 - 3 : 上位・関連計画（都市マス）における都市圏軸

都市マスにおける都市圏軸の位置づけ【その4】

■森町都市計画マスタープラン(令和2年6月)

